

消 防 年 報

平成29年（2017年）版



宇部・山陽小野田消防局

平成30年刊行

は し が き

この消防年報は、宇部・山陽小野田消防局の消防現勢及び平成29年中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集資料について、組織・予算・予防・施設に関するものは、平成30年4月1日、火災・救急・救助等に関するものは平成29年12月末日をもって編集しました。

この年報が消防関係者はもとより、広くあらゆる方面で御活用いただき、本消防局に対する御理解を深めていただければ幸いです。

平成30年8月

宇部・山陽小野田消防局

目 次

管 内 概 況

1	管内の概要	3
2	構成市の位置図	3
3	第一次・宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画	4
4	消防の沿革	5
	(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革	5
	(2) 宇部市消防の沿革	7
	(3) 小野田市消防の沿革	10
	(4) 山陽町消防の沿革	12
	(5) 山陽小野田市消防の沿革	13
5	過去の主な災害等	14
	(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録	14
	(2) 宇部市の主な火災記録	14
	(3) 旧小野田市の主な火災記録	15
	(4) 旧山陽町の主な火災記録	15
	(5) 山陽小野田市の主な火災記録	16
	(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害	16
6	応援協定等締結状況	17

総 務

1	宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務	21
2	消防局・消防署職員配置表	23
3	消防職員階級別年齢	26
4	消防職員階級別勤続年数	26
5	職員研修状況	27
6	特殊技能・技術資格者	28
7	消防予算	29
8	消防庁舎	31

予 防

1	防火対象物	35
	(1) 棟数及び立入検査	35
	(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況	36
2	建築確認同意処理件数	37
3	防火管理者選任状況	38
4	危険物施設設置状況	39
5	危険物許認可状況	40
6	危険物施設の現況及び立入検査状況	41
7	宇部・小野田地区特別防災区域	42
	(1) 宇部市	42

(2) 山陽小野田市	43
8 火薬類取締法関係処理状況	45
9 消防協力団体の現況	46

警 防

1 消防配置図	51
2 消防車両	52
3 消防水利	55
(1) 消火栓	55
(2) 防火水槽	55
(3) その他	55
4 化学消火剤備蓄状況	55
5 火災	56
(1) 月別火災発生状況	56
(2) 火災種別ごとの件数	57
(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者	57
(4) 火災種別ごとの損害額	58
(5) 焼損面積	58
(6) 曜日別火災発生状況	59
(7) 時間帯別火災発生状況	60
(8) 過去5年間の火災発生状況	61
(9) 過去5年間の火災種別件数	62
(10) 過去5年間の火災原因別件数	63
(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）	64
6 救急	65
(1) 過去5年間の救急状況	65
(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況	66
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員	67
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー）出場件数及び搬送人員	68
(5) 事故種別・月別出場件数・搬送人員	69
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員	70
(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員	71
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	72
7 救助	73
8 火災以外の出動	74
9 救急講習	75

情報指令

1 消防通信施設	79
(1) 消防指令センター	79
(2) 電話回線	79
(3) システム構成図	80
(4) 自家用発電機	81

(5) 無線局	82
2 119回線着信件数	83

消 防 団

1 消防団組織図	87
(1) 宇部市消防団	87
(2) 山陽小野田市消防団	88
2 消防団配置図	89
(1) 宇部市消防団	89
(2) 山陽小野田市消防団	90
3 消防団員階級別年齢	91
4 消防団員階級別勤続年数	92
5 消防団員年報酬及び費用弁償	93
6 消防団災害出動状況	94
7 消防団車両及び機械器具	95
(1) 配備管理状況	95
(2) 消防ポンプ自動車	97
(3) 小型動力ポンプ積載車	98
(4) 小型動力ポンプ	99
(5) その他の車両	100
8 消防団機庫	101
9 消防団協力事業所	104

管内概況



ときわ公園

宇部市のときわ公園は面積約 100ヘクタールに及ぶ常盤湖を中心に広がる緑と花と彫刻に彩られた総合公園で、山口県初の「登録記念物（名勝地関係）」に登録されています。

約百点の彫刻作品を常設展示している園内では、豊かな自然とアートが調和した美しい景観を堪能できます。

竜王山

山陽小野田市の竜王山は、瀬戸内海に面し、高さ 135.69メートルの山です。360度の展望に恵まれて、山陽小野田市、宇部市の市街地はもとより、関門橋や四国、九州、国東半島が一望できます。自動車登山道、歩行者登山道、フィールドアスレチック、パーゴラ、広場、園路、モミジ谷などが整備され、展望台も設置されています。



一目でわかる消防統計

平成30年4月1日現在



管轄面積

419.74km²



構成市

宇部市
山陽小野田市



人口と世帯数

人口 229,336人
世帯数 107,938世帯



職員数

定員 298人
実員 298人



常備消防費予算

3,182,843千円



署所

消防署 4署
出張所 4所



防火対象物

9,339施設



危険物施設

1,546施設



防火クラブ

幼年消防クラブ 18
少年消防クラブ 8
婦人防火クラブ 2



消防車

ポンプ車等 28台
その他車両 32台



救急車

高規格救急自動車 11台



消防水利

消火栓 3,581基
防火水槽 369基



火災件数

火災件数 70件
死者 2人
負傷者 14人



救急件数

出動件数 9,939件
搬送人員 7,799人



救助件数

出動件数 101件
救助人員 59人



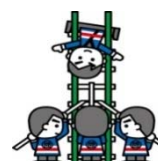
119回線着信件数

合計 16,308件



宇部市消防団

分団数 15分団
団員数 713人
消防防災サポーター 72人



山陽小野田市消防団

分団数 13分団
団員数 420人

管内概況

1 管内の概要

宇部・山陽小野田消防組合は、宇部市及び山陽小野田市をもって組織され、本州西端にある山口県の南西部に位置し、西は下関市、北は美祢市、東は山口市、南は瀬戸内海に面しています。

交通環境を見ると、鉄道は JR 山陽新幹線をはじめ、山陽本線、宇部線、小野田線及び美祢線が東西南北に走り、高速道路は山陽自動車道が管内の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港、小野田港があり、市街地に近い位置に山口宇部空港もあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。

気候は、年間を通じて温暖で雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海式気候で、丘陵地や干拓地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。

また、南は瀬戸内海に面していることから、山と海の幸に恵まれ、市街地には厚東川、有帆川、厚狭川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。

両市は、いずれも明治期以降、石炭産業の振興により、近代的な工業都市として発展し、現在でも瀬戸内有数の臨界工業地帯を形成しています。

2 構成市の位置図



	人口 (人)	世帯数	面積 (km ²)	市の木	市の花
宇 部 市	166,023	79,039	286.65	クスノキ	サルビア ツツジ
山陽小野田市	63,313	28,899	133.09	クロガネモチ	ツツジ
計	229,336	107,938	419.74	—	—

平成30年4月1日現在

3 第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画

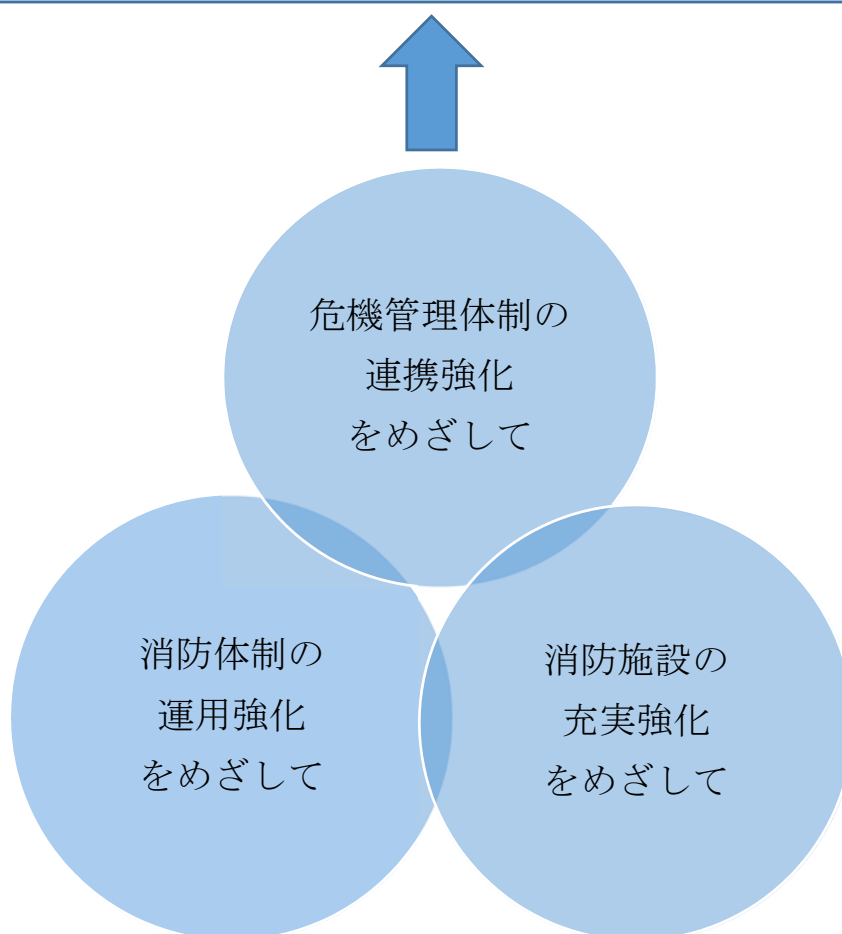
宇部・山陽小野田消防組合は、平成24年4月1日から消防業務の共同処理を開始するにあたり、宇部・山陽小野田消防局実行計画を策定し、業務を推進してきました。

この宇部・山陽小野田消防局実行計画が平成26年度で終了することから、各種災害への対応や社会情勢及び多様化する住民ニーズに的確に応えるための指針として、第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定しました。

基本計画は、基本構想と実行計画で構成され、基本構想は平成27年度から平成35年度までの9年間の消防組合の施策を体系的に定めたもので、基本構想で示した基本方針、大綱に基づく施策を実施するために、具体的な事務事業を明示したものが、実行計画となります。これらに基づき、消防組合の目指すべき姿を具体化するとともに、各種施策に積極的かつ献身的に取り組み、強力で推進していきます。

[基本方針]

住民とともに歩む安心して暮らせる安全な都市（まち）をめざして



4 消防の沿革

(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2008年 平成20年 5月	山口県は、消防組織法の一部を改正する法律(平成18年法律第64号)及び市町村の消防の広域化に関する基本指針(平成18年7月12日消防庁告示第33号)を受け「山口県消防広域化推進計画」を策定
2009年 平成21年11月20日	宇部市と山陽小野田市は、市街地や石油コンビナートが一体化しさらに都市形態も類似しているため、効果的かつ効率的な消防体制の構築が図られると考え、「宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会」を設置し、消防の広域化について検討を開始
2009年 平成21年11月20日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 2月13日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 5月20日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 8月11日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年10月15日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年11月15日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2011年 平成23年 1月 4日	宇部市と山陽小野田市は、両市の消防広域化に係る広域消防運営計画の作成及びこれに附帯する事務を共同して行うため、「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置
2011年 平成23年 2月16日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 3月29日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 5月31日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 6月29日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 7月20日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 8月 1日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年10月20日	第7回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年10月20日	宇部市・山陽小野田市広域消防運営計画を策定

(西暦) 年 月 日	沿 革
2011年 平成23年 1月30日	山口県知事から、宇部市及び山陽小野田市の両市長に「宇部・山陽小野田消防組合」の設置許可書が交付される。 ※宇部・山陽小野田消防組合発足（平成18年の消防組織法改正後に消防が広域化されるのは、全国で7番目、県内では初の取り組み）
2012年 平成24年 2月20日	第1回宇部・山陽小野田消防組合議会 定例会開催
2012年 平成24年 3月30日	宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会 廃止
2012年 平成24年 4月 1日	「宇部・山陽小野田消防局」が発足し、1本部4署4出張所、職員定数298人で消防業務を開始
2013年 平成25年 3月28日	山陽小野田市大字厚狭487番地9へ山陽消防署を新築移転し、竣工式を挙げる
2014年 平成26年 3月 2日	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用開始
2014年 平成26年 8月22日	緊急消防援助隊（延べ13隊、52人）を広島市土砂災害（広島県広島市安佐南区）の被災地へ9日間派遣
2015年 平成27年 1月28日	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定
2016年 平成28年 4月16日	緊急消防援助隊（延べ12隊、44人）を熊本地震（熊本県南阿蘇村河陽地区ほか）の被災地へ6日間派遣
2017年 平成29年 7月 6日	緊急消防援助隊（延べ27隊、108人）を平成29年7月九州北部豪雨災害（福岡県朝倉郡東峰村ほか）の被災地へ20日間派遣
2018年 平成30年 3月25日	宇部市大字船木461番地1へ宇部西消防署楠出張所を新築移転し、開所式を挙げる

(2) 宇部市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1921年 大正10年11月11日	村から一躍市政を施行。消防組織は消防組と称し、市域を4部に分け、各部32人をもって組織し、腕用ポンプを配備
1931年 昭和6年	藤山村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1939年 昭和14年4月1日	消防組を警防団に改名し、市域を11分団、各250人程度に編成
1941年 昭和16年	厚南村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1943年 昭和18年	西岐波村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1944年 昭和19年3月24日	宇部市小串通り渡辺翁記念会館内に山口県宇部消防署が設置(勅令第137号特設消防規定に基づく)され、防府市と山口市にその出張所を設置
1947年 昭和22年9月	終戦による警防団の解散に伴い、新たに11分団定員419人の消防団が結成
1947年 昭和22年12月23日	消防組織法が公布され、従来の官設消防は、警察から分離して民主的な自治体消防として発足
1948年 昭和23年3月7日	消防組織法の施行に伴い、宇部市消防本部を宇部市常盤通り一丁目宇部市役所内に設置し、宇部市消防署は従前どおり渡辺翁記念会館内に存置して、自治体消防として新発足 また、防府、山口両市の出張所は宇部消防署の管轄を離れ、人員機材をそのままに両市自治体消防として発足
1948年 昭和23年7月24日	消防法が公布され、消防業務は従来の水火災の防御鎮圧分野から大きく進展し、火災予防、原因の調査、建築許可等の同意、危険物の取締等の消防行政に画期的な職権が付与
1950年 昭和25年9月16日	宇部市消防本部を渡辺翁記念会館内(宇部市消防署と同一箇所)に移転
1954年 昭和29年10月1日	厚東、二俣瀬、小野、東岐波の4村が合併
1956年 昭和31年11月	消防団の機構改革を行い、11分団、定員600人に統合
1960年 昭和35年9月1日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を常盤町二丁目、郵便局庁舎北隣の新庁舎に移転

(西暦) 年 月 日	沿 革
1963年 昭和38年 9月10日	消防法の一部改正により、救急業務が制度化され、救急車1台を配備して、救急隊を編成
1970年 昭和45年11月	宇部市消防団の事務局を市長部局から消防本部総務課へ移管
1975年 昭和50年 9月	山口県消防操法大会応急操法ポンプ車の部において初優勝
1977年 昭和52年 4月 1日	吉敷郡阿知須町から同町の救急業務に関する事務を受託
1977年 昭和52年 4月 1日	宇部市消防本部消防職員共済会設立
1978年 昭和53年 4月18日	厚南中野に厚南消防出張所を建築、消防業務を開始し職員定数を97人に増員
1980年 昭和55年 4月 1日	西岐波西大道に東部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を124人に増員
1982年 昭和57年12月 6日	山口宇部空港内に空港分遣所を設置
1988年 昭和63年 3月31日	山口宇部空港内の空港分遣所を廃止
1989年 平成 元年 1月19日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を港町二丁目の新庁舎に移転し、消防緊急情報システムを導入
1990年 平成 2年 5月23日	山口県消防大会を開催
1990年 平成 2年11月30日	高齢化社会に伴い、緊急時の通報として宇部市緊急通報システムを構築し、集中管理センターを消防本部通信指令室に設置
1991年 平成 3年 9月	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
1992年 平成 4年11月 6日	救急救命士及び高規格救急自動車による高度処置救急隊の運用開始
1995年 平成 7年 4月 1日	二俣瀬に北部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を161人に増員
1995年 平成 7年 8月 1日	宇部地区地震連絡協議会を設立(同年7月31日)し地震発生情報伝達システムの運用を開始
1995年 平成 7年10月24日	山口県幼年消防大会を開催
1996年 平成 8年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を164人に増員
1997年 平成 9年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を170人に増員

(西暦) 年 月 日	沿 革
1998年 平成10年 4月 1日	西部消防出張所を西消防署に昇格し、職員定数を176人に増員
1999年 平成11年10月 1日	消防緊急通信指令施設更新
2000年 平成12年 4月 1日	消防の充実強化及び拡充を図るため、職員定数を184人に増員し通信指令部門を通信指令課として独立
2000年 平成12年 6月 8日	山口県危険物安全大会を開催
2000年 平成12年 8月	山口県総合防災訓練を実施
2000年 平成12年10月 1日	吉敷郡阿知須町から同町の消防業務に関する事務を受託
2002年 平成14年 4月 1日	中央消防署に救助係を設置
2002年 平成14年10月16日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を阿知須町きらら浜で実施
2003年 平成15年 8月 1日	救命率向上を図るため、山口大学医学部附属病院と相互協力し、救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）を運用開始
2004年 平成16年 5月	山口県消防大会を開催
2004年 平成16年11月 1日	楠町との合併により楠消防出張所を開設し、1本部、2署、3出張所、職員定数194人で運用開始 また宇部市消防団の定員を宇部消防団560人、楠消防団180人で運用開始
2007年 平成19年 3月 1日	高規格救急自動車1台を導入し、保有する7台全ての救急車の高規格化が完了
2007年 平成19年 4月 1日	宇部消防団に方面隊を組織し、定員520人に変更
2008年 平成20年 5月30日	宇部市危険物安全協会と宇部市防火協会を統合し、宇部市防災協会を設立
2008年 平成20年 9月	山口県消防操法大会基本操法小型ポンプの部において初優勝
2009年 平成21年10月31日	山口市阿知須区域の事務受託を廃止
2011年 平成23年 3月14日	緊急消防援助隊（4隊、13人、車両4台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ4日間派遣
2013年 平成25年 4月 1日	宇部市消防団（宇部消防団、楠消防団）が統合

(3) 小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1898年 明治31年 2月	須恵村に公設消防組を設置
1908年 明治41年 9月	高千帆村に公設消防組を設置
1939年 昭和14年 4月15日	小野田・高千帆両町の消防組を警防団に改名
1940年 昭和15年11月 3日	小野田町と高千帆町が合併して小野田市となり、両町の警防団は小野田市警防団と再編
1947年 昭和22年 6月27日	小野田市消防団を結成し、団本部と8個分団を編成、450人の組織を設置
1948年 昭和23年12月 1日	市役所社会課内に小野田市消防本部を設置
1949年 昭和24年 5月 1日	小野田市大字小野田5993番地へ消防本部を設置し、当市消防行政は市の一般行政から独立、消防職員の定数は消防長以下5人で、消防業務を開始
1950年 昭和25年 4月 1日	小野田市消防団員の定員を450人から275人に改正
1951年 昭和26年 1月18日	消防団第2分団の水上部を独立させ、水上分団を設置
1951年 昭和26年 8月 3日	市長、消防長、団長、市議会議員4人、一般有識者10人により小野田市消防委員会を設置
1955年 昭和30年 5月30日	高松宮殿下を迎え、消防自動車80台、消防職団員3,000人による山口県消防機関連合訓練大会を挙行
1963年 昭和38年 3月 9日	小野田市大字小野田5896番地の1に消防本部・署庁舎を新築移転
1963年 昭和38年 4月 1日	小野田市危険物安全協会を設立(10事業所)
1964年 昭和39年12月11日	非常災害連絡用として消防無線局を開局 ・基地局(10W 1基) ・陸上移動局(10W 3基) ・携帯陸上移動局(1W 2基)
1965年 昭和40年10月 1日	救急業務を開始
1970年 昭和45年12月 1日	小野田市化学消火剤共同備蓄会を設立(34事業所)
1977年 昭和52年10月17日	大型化学消防自動車、大型高所放水車、泡原液搬送車を配置
1978年 昭和53年12月 5日	一斉指令装置を設置

(西暦) 年 月 日	沿 革
1983年 昭和58年 7月 1日	機構改革により、新たに予防課を設置、総務課に消防団係を設置
1985年 昭和60年 6月 1日	石井手保育園に幼年消防クラブを結成、以後6保育園がクラブを結成
1985年 昭和60年 7月19日	刈屋婦人防火クラブを結成
1985年 昭和60年 9月 1日	小野田市防火委員会を結成
1987年 昭和62年11月11日	全国消防長会危険物委員会を開催
1990年 平成 2年 5月23日	山口県消防大会を開催
1992年 平成 4年 4月 1日	女性消防団員10人を採用
1993年 平成 5年 4月 1日	職員定数を54人から57人に増員
1995年 平成 7年 9月 1日	県下初の地震を想定した山口県総合防災訓練を実施
1995年 平成 7年10月24日	山口県幼年消防大会を開催
1996年 平成 8年 4月 1日	高規格救急自動車を新規配備し高度救急業務を開始
1997年 平成 9年 3月26日	耐震性貯水槽(100t)新設、以後市街地に9基設置
1999年 平成11年 3月25日	消防緊急通信指令施設(I型)が完成
1999年 平成11年 4月 1日	小野田市高栄一丁目6番1号へ消防本部・消防署庁舎を新築移転し、供用開始(本庁舎:鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建)
1999年 平成11年 7月 1日	きららビーチ完成に伴い、消防署に水難救助隊を設置
2000年 平成12年 1月20日	消防訓練塔完成(主塔:5階建、補助塔:3階建)
2000年 平成12年 3月29日	化学消火薬剤備蓄タンク(20k1)及び消火薬剤倉庫が完成
2000年 平成12年 6月 8日	山口県危険物安全大会を開催
2002年 平成14年 3月27日	小野田市消防団が地域活動功労による消防庁長官表彰を山口県で初受賞
2002年 平成14年10月17日	全国消防長会予防委員会を開催
2005年 平成17年 3月21日	小野田市消防委員会を廃止

(4) 山陽町消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1948年 昭和23年 8月	厚狭町消防本部を設置
1956年 昭和31年 9月	厚狭町と埴生町が合併し山陽町となり、山陽町消防本部を設置
1963年 昭和38年 1月	山陽町危険物安全協会を設立
1971年 昭和46年 4月	楠町と救急業務に関する事務委託協定を締結
1973年 昭和48年 6月	山陽地区消防組合を設立(許可番号:指令地方第327号) 山陽町と楠町で消防に関する事務を共同処理
1974年 昭和49年10月	楠出張所開設、職員6人、消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台配備し業務開始 埴生出張所(旧埴生消防事務室)開設、職員5人、消防団消防ポンプ自動車を管理
1981年 昭和56年 4月	埴生出張所完成、職員7人、水槽付消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台を配備
1993年 平成5年 3月	消防緊急通信指令施設(I型)を設置
1993年 平成5年 7月	消防組合発足20周年記念式典を開催
1994年 平成6年 3月	消防用無線中継局を松岳山に開局
1994年 平成6年11月	山陽署事務室等増築
2000年 平成12年 8月	山口県総合防災訓練を実施
2002年 平成14年 4月	高規格救急自動車を山陽消防署に配備し高度救急業務開始
2003年 平成15年 6月	山口県危険物安全大会を開催
2004年 平成16年 4月	職員8人(内3人救急救命士)を採用し実員64人に増員
2004年 平成16年 5月	山口県消防大会を開催
2004年 平成16年10月31日	組合構成団体の楠町が宇部市と合併、山陽地区消防組合を解散
2004年 平成16年11月 1日	山陽町消防本部を設立 1本部1署1出張所、職員定数54人で消防業務開始

(5) 山陽小野田市消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿 革
2005年	平成17年	3月	22日	小野田市と山陽町の合併により、山陽小野田市が誕生したことに伴い、常備消防は、2消防本部が統合して山陽小野田市消防本部（山陽小野田市高栄一丁目6番1号）が発足、1本部2署1出張所、職員定数110人の消防体制で消防業務を開始 一方、非常備消防も2市町の消防団が統合し、1団本部、22分団、定員503人による消防団組織を編成
2005年	平成17年	9月	17日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
2006年	平成18年	3月	20日	消防緊急通信指令システム（I型）を更新
2006年	平成18年	5月	28日	消防学校フェスタで従来の幼年消防クラブ大会に替えて、山陽小野田市引受けによるちびっ子防火フェアを開催
2007年	平成19年	4月	1日	山陽小野田市消防団は合併協定事項に基づき、小学校区を基本に統合、合併当時の22個分団を13個分団に再編し、定員も503人から485人に改正、業務開始
2007年	平成19年	4月	12日	出合分団及び厚陽分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2008年	平成20年	3月	18日	厚狭北分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2011年	平成23年	3月	14日	緊急消防援助隊（2隊、5人、車両2台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ4日間派遣

5 過去の主な災害等

(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H25. 9. 8	宇部市 大字沖宇部	工場内の中間製品貯蔵タンクより出火 損害額 7, 440千円 軽症2人
H26. 4. 27	宇部市 大字今富	倉庫から出火し、山林に延焼 建物9棟全焼、1棟部分焼 (836㎡) 損害額 7, 849千円 山林61a焼失
H26. 8. 18	山陽小野田市 新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 122, 409千円
H27. 5. 1	山陽小野田市 大字小野田	工場内のベルトコンベアーから出火 損害額 9, 428千円
H27. 8. 5	山陽小野田市 港町	ガス充てん工場作業場から出火 損害額 84, 040千円 負傷者1人

(2) 宇部市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S20. 7. 2	市内	B29爆撃機による空襲 4, 953戸全焼 り災世帯23, 413世帯 死者336人 負傷者591人
S25. 2. 18	常盤町二丁目	百貨店から出火 建物7棟焼損 (1, 404㎡) 損害額 21, 989千円
S28. 3. 2	梶返	中学校から出火 建物4棟焼損 (5, 690㎡) 負傷者 6人 損害額 70, 000千円
S30. 11. 20	小串	病院から出火 建物1棟全焼 (2, 507㎡) 損害額 24, 717千円
S34. 7. 11	大字藤曲	化学工場が爆発 建物1棟 (560㎡) 死者11人 負傷者38人 損害額 250, 000千円
S36. 4. 1	川上(男山)	山林から出火 3日間延焼 462ha焼失 損害額 37, 582千円
S37. 10. 29	大字上宇部	高等学校から出火 建物4棟焼損 (999㎡) 損害額 2, 704千円
S40. 3. 19	東海岸通り二丁目	木工所から出火 建物12棟焼損 (1, 788㎡) り災世帯19世帯 負傷者2人 損害額 30, 506千円
S43. 6. 12	中央町三丁目	家具百貨店から出火 建物18棟焼損 (2, 658㎡) り災世帯26世帯 負傷者2人 損害額 93, 458千円
H元. 12. 7	新天町二丁目	物品販売店舗から出火 建物1棟全焼 (4, 068㎡) り災世帯3世帯 負傷者3人 損害額 510, 776千円

(3) 旧小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S26. 6. 6	くし山中	小学校から出火 校舎2棟全焼 (919㎡) 損害額 7,048千円
S30. 3. 7	北栄町	映画館から出火 建物1棟全焼 (659㎡) 損害額 5,050千円
S33. 4. 8	くし山東	高等学校から出火 校舎1棟全焼 (347㎡) 損害額 1,700千円
S34. 11. 13	第一日の出町	パチンコ店から出火 建物3棟全焼 (292㎡) り災世帯12世帯 り災人員41人 損害額 168,298千円
S53. 4. 9	北真土郷	林野から出火 焼損面積27ha 損害額 24,003千円
S56. 7. 7	西沖	石油精製工場(動力管理室から出火)建物1棟部分焼 損害額 17,130千円(原因は落雷) 負傷者1人
S59. 2. 28	丸河内一区	電気製品の倉庫から出火 建物1棟全焼 (869㎡) 損害額 134,410千円
S60. 6. 23	南真土郷	樹脂工場から出火 建物1棟全焼 (660㎡) 損害額 151,675千円
S63. 4. 26	平和町	専用住宅から出火 建物20棟を全半焼 (1,486㎡) り災世帯25世帯 り災人員63人 損害額 347,974千円
H11. 9. 7	小野田港	製鋼工場から水蒸気爆発が発生 出火建物は爆発により損壊したが、 火災による損害はスクラップのみ

(4) 旧山陽町の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S25. 5. 15	火薬町	化学工場内の廃酸分解から出火 建物3戸全焼 (298㎡) 損害額 100,000千円 半焼1戸 死者3人
S26. 6. 7	本町1	映画館から出火 映画館(200㎡)を全焼 半焼5戸 損害額 8,750千円 り災世帯6世帯
S35. 2. 20	山陽本線	山陽本線厚狭埴生駅間「さくら」の電源車から出火 損害額31,320千円
S40. 3. 21	保戸	山林から出火 山林13.8ha焼失 損害額 2,202千円
S42. 6. 4	大持	山林から出火 再燃で延べ4日間にわたり延焼 損害額 6,291千円、山林18.4ha焼失
S43. 4. 30	大持	山林から出火 山林10.3ha焼失 損害額 458千円
S45. 1. 16	殿町3	小学校(木造2階建)から出火 校舎半焼 (542㎡) 損害額 2,634千円
H15. 11. 8	浜崎	「まつり山陽」前夜祭花火大会において花火の爆発事故 損害額 94千円 死者2人 重症1人 軽症1人

(5) 山陽小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H17.10.24	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 47,806千円

(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害

年 月 日	内 容	被 害 概 要	
		宇 部 市	山陽小野田市
S17. 8.27	周防灘台風により高潮が発生、市内堤防が相次いで決壊し市街地及び低地に海水が浸水し、甚大な被害をもたらした。	死者 232 人、行方不明 65 人、負傷者 118 人、家屋全壊 71 戸、家屋流出 472 戸、家屋半壊 643 戸、浸水 5,082 戸	(小野田市)死者 141 人、行方不明 3 人、負傷者 27 人、家屋全壊 195 戸、家屋流出 96 戸、家屋半壊 985 戸、床上浸水 509 戸、船舶流失 350 艘
S28.6.25 ~6.29	九州山口を豪雨が襲い、約 5 日間にわたる記録的な大雨となり、大きな被害をもたらした。	死者 1 人、家屋全半壊 29 戸、浸水 3,707 戸、真締川堤防 3 か所決壊、13 鉱完全水没、	(小野田市)死者 2 人、重傷者 1 人、家屋全半壊 44 戸、家屋流出 1 戸、床上浸水 179 戸、道路決壊 30 ヶ所、橋梁流出 4 箇所(山陽町)厚狭川決壊、死者 6 人、負傷者 5 人、家屋全半壊 19 戸、床上浸水 1,503 戸
H3.9.27	台風第 19 号は、中心気圧 945hpa、最大風速 45m/s の大型台風で、大きな被害をもたらした。	死者 1 人(太陽熱温水器落下による)、重傷者 3 人、軽傷者 8 人、家屋半壊 41 戸	(小野田市)負傷者 7 人、家屋全壊 1 戸、家屋半壊 10 戸、床上浸水 1 戸 (山陽町)家屋全壊 2 戸、家屋半壊 1 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 23 戸
H11.9.24	台風第 18 号は、中心気圧 950hpa、最大風速 45m/s の大型台風で竜巻、高潮による大きな被害をもたらした。	重傷者 4 人、軽傷者 7 人、家屋全壊 13 戸、家屋半壊 536 戸、床上浸水 241 戸、床下浸水 3,408 戸	(小野田市)重傷者 12 人、軽傷者 70 人、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 118 戸、西部石油沖護岸決壊、床上浸水 83 戸 (山陽町)負傷者 5 人、住宅全壊 32 世帯、半壊 421 世帯、非住居の被害 215 戸、救出者 21 人
H21.7.21 ~7.26	梅雨前線に伴う集中豪雨(平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨)のため、河川の氾濫等により多くの被害をもたらした。	家屋半壊 4 戸、床上浸水 42 戸、床下浸水 20 戸	床上浸水 44 戸、床下浸水 221 戸、救助出動 9 件、救助人員 49 人
H22.7.15	梅雨前線の停滞に伴う集中豪雨による厚狭川等の氾濫のため、山陽地区において多くの被害をもたらした。	家屋半壊 1 戸、家屋一部損壊 8 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 60 戸	家屋半壊 8 戸、床上浸水 446 戸、床下浸水 351 戸、救助人員 92 人(宇部・光・岩国消防応援隊救出を含む)

6 応援協定等締結状況

協定の名称		締結先機関	締結年月日	
1	山口県内広域消防相互応援協定	山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
2	中国自動車及び山陽自動車道における消防相互応援協定	下関市・美祢市・山陽小野田市・宇部市 山口市・防府市・周南市・下松市・光市 光地区消防組合・岩国市・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
3	県道山口宇部線における消防相互応援協定	山口市・宇部市	H24. 3. 28	
4	石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	岩国地区消防組合・下松市・周南市・下関市	H24. 4. 1	
5	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	下関市・山口市・萩市・防府市・下松市・長門市 周南市・柳井地区広域消防組合・美祢市 光地区消防組合・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
6	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県・山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
7	船舶消火に関する業務協定	宇部海上保安署	H24. 4. 1	
8	山口県宇部空港及びその周辺における消火救援活動に関する協定	山口宇部空港	H24. 4. 1	
9	ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ	都市ガス	山口合同ガス(株)宇部支店	H26. 4. 1
		LPガス	山口県LPガス協会宇部小野田支部	H24. 4. 1
			山口県LPガス協会厚狭支部	H24. 4. 1
10	救急車医師同乗システムに関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
11	気管挿管実習に係る協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
12	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
		医療法人社団宇部興産中央病院		
		山口労災病院		
13	エボラ出血熱患者の移送に関する協定	山口県宇部環境保健所	H27. 6. 5	
14	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山陽小野田市民病院	H30. 2. 9	

総

務

消防局・宇部中央消防署



宇部中央消防署東部出張所



宇部西消防署



宇部西消防署北部出張所



宇部西消防署楠出張所



小野田消防署



山陽消防署



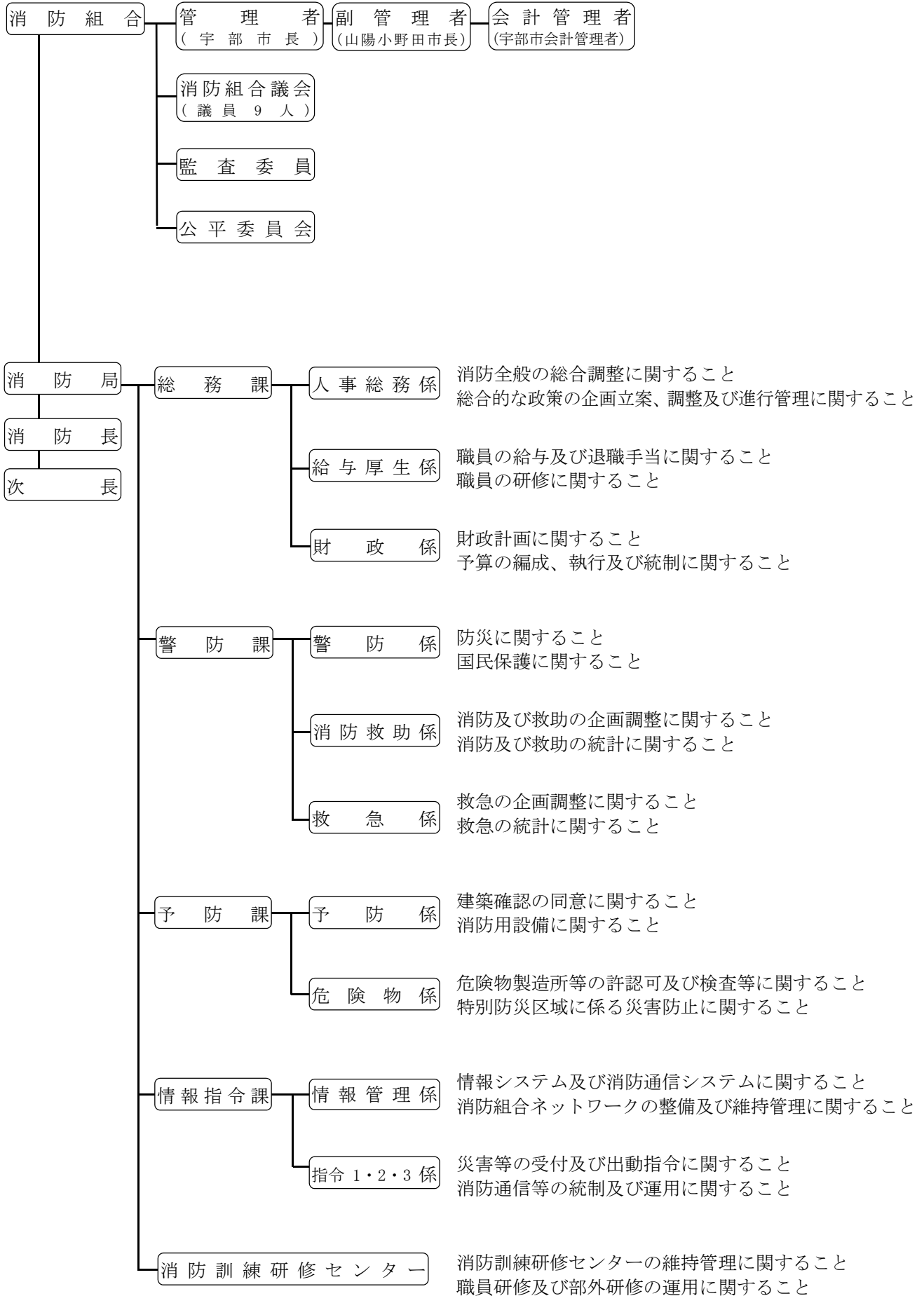
山陽消防署植生出張所

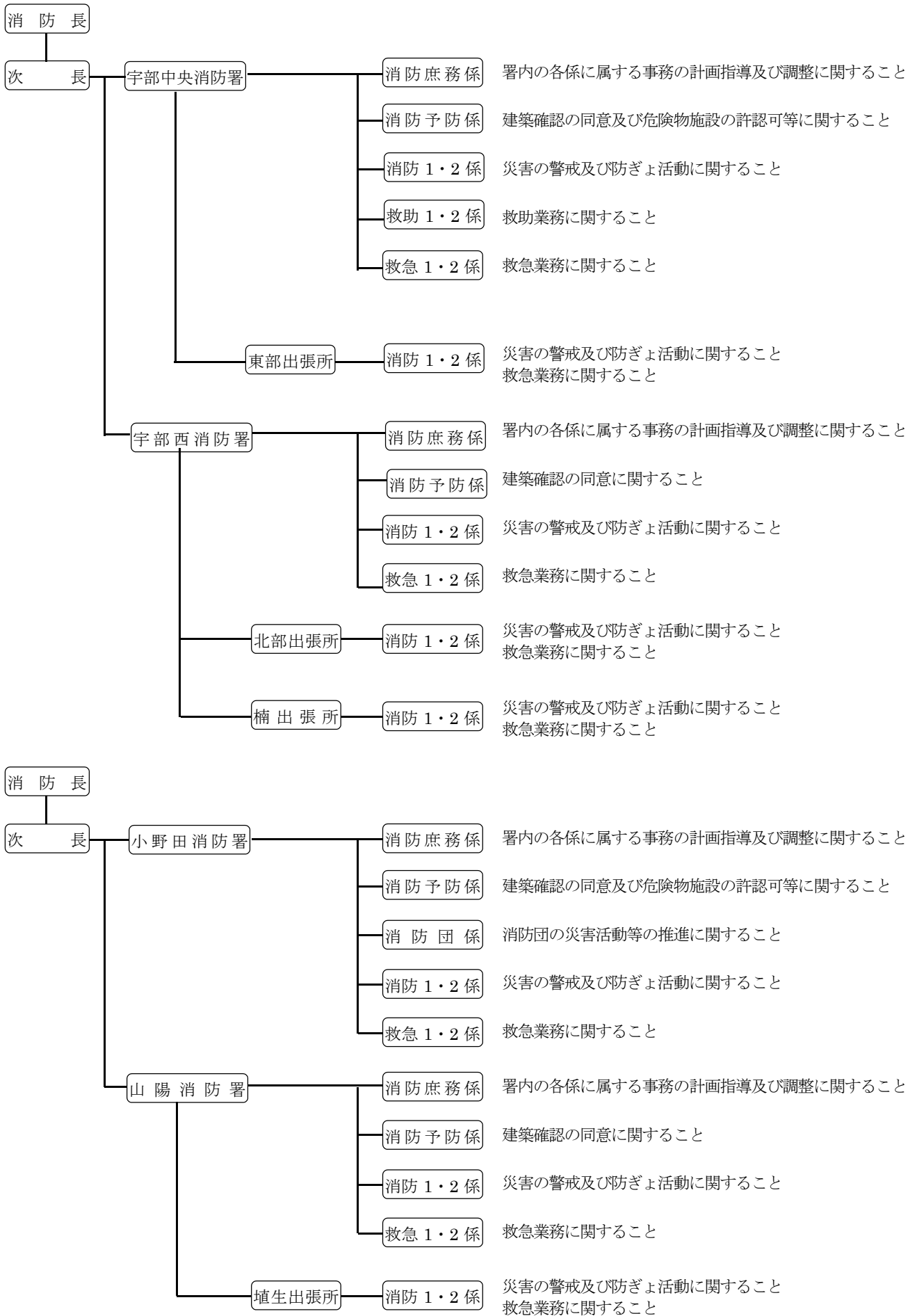


1年間の主な行事

- 6月第2週……………危険物安全週間
- 8月30日～9月5日……………防災週間
- 9月1日……………防災の日
- 9月9日……………救急の日
- 11月9日……………119番の日
- 11月9日～11月15日……………秋季火災予防運動
- 1月15日～1月21日……………防災とボランティア週間
- 1月17日……………防災とボランティアの日
- 1月26日……………文化財防火デー
- 3月1日～3月7日……………春季火災予防運動
- 3月7日……………消防記念日

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務





2 消防局・消防署職員配置表

[単位：人]

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員	
定員			298											
実員			298 (5)	1	3	8	26	77	101 (2)	28 (2)	54 (1)		1	
消防局	消防長		1	1										
	次長		1		1									
	総務課	課長		1			1							
		課長補佐		2				2						
		人事総務係		2					1	1				
		給与厚生係		3					1	2				
		財政係		3					2	1				
		派遣職員他		16					5	1		10		
		警防課	課長		1			1						
	課長補佐			1				1						
	警防係			2					2					
	消防救助係			2					2					
	救急係			2					2					
	予防課	課長		1			1							
		課長補佐		1				1						
		予防係		3(1)					1	2(1)				
		危険物係		4					1	3				
	情報指令課	課長		1			1							
		課長補佐		3				3						
		情報管理係		4					2	1	1			
指令1係			3					3						
指令2係			3					1	2					
指令3係			3					2	1					
小計			63(1)	1	1	4	7	25	14(1)	1	10			

() 内は女性職員数

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員
宇部中央消防署	署長		1		1								
	副署長		1			1							
	副主幹		1				1						
	消防庶務係		2					1	1				
	消防予防係		3					3					
	警備司令		2				2						
	消防1係		12					4	5		3		
	救助1係		6					1	3	1	1		
	救急1係		9(1)					3	3		3(1)		
	消防2係		12					4	3	2	3		
	救助2係		6					1	4	1			
	救急2係		9					3	2		4		
	東部出張所長		1				1						
	東部消防1係		10					1	5	2	2		
	東部消防2係		10				1	2	2	1	4		
	小計		85(1)		1	1	5	23	28	7	20(1)		
宇部西消防署	署長		1			1							
	副署長		1				1						
	消防庶務係		1						1				
	消防予防係		2						2				
	警備司令		2				2						
	消防1係		10					2	4	1	3		
	救急1係		4					1	2	1			
	消防2係		10					3	4	1	2		
	救急2係		4					1	3				
	北部出張所長		1				1						
	北部消防1係		8					1	5	1	1		
	北部消防2係		7					1	4		2		
	楠出張所長		1				1						
	楠消防1係		8				1	1	4	1	1		
楠消防2係		7					2	2	1	2			
小計		67			1	6	12	31	6	11			

() 内は女性職員数

勤務別		階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員
		計										
小野田消防署	署長	1		1								
	副署長	1			1							
	消防庶務係											1
	消防予防係	3(1)					1	1	1(1)			
	消防団係	2					2					
	警備司令	2				2						
	消防1係	12					2	7	2	1		
	救急1係	5					1	2	1	1		
	消防2係	12					3	4	3	2		
	救急2係	5(1)					2	1(1)		2		
	小計	43(2)		1	1	2	11	15(1)	7(1)	6		1
山陽消防署	署長	1			1							
	副署長	1				1						
	消防庶務係	1						1				
	消防予防係	1					1					
	警備司令	2				2						
	消防1係	6					1	2	2	1		
	救急1係	5(1)					1	2	1(1)	1		
	消防2係	6				1	1	1	1	2		
	救急2係	5				1	1	1		2		
	埴生出張所長	1				1						
	埴生消防1係	6					1	3	1	1		
	埴生消防2係	5						3	2			
小計	40(1)			1	6	6	13	7(1)	7			

() 内は女性職員数

3 消防職員階級別年齢

[単位：人]

年 齢	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合計
20 歳未満								1	1
20 歳以上 25 歳未満								28(1)	28(1)
25 歳以上 30 歳未満						10	22(2)	21	53(2)
30 歳以上 35 歳未満						17	6	4	27
35 歳以上 40 歳未満					1	26(1)			27(1)
40 歳以上 45 歳未満					21	21(1)			42(1)
45 歳以上 50 歳未満				3	34	14			51
50 歳以上 55 歳未満		1	2	7	13	5			28
55 歳以上	1	2	6	16	8	8			41
合計	1	3	8	26	77	101(2)	28(2)	54(1)	298(5)
平均 (歳)	59.0	57.0	56.1	55.2	47.4	39.9	28.0	24.4	39.9
再任用職員									

() 内は女性職員数

4 消防職員階級別勤続年数

[単位：人]

勤 続 年 数	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合計
5 年未満							10(1)	44(1)	57(3)
5 年以上 10 年未満						16	15(1)	10	34
10 年以上 15 年未満						25	3		32
15 年以上 20 年未満					6	15(2)			21(2)
20 年以上 25 年未満				2	33	22			63
25 年以上 30 年未満				2	23	11			28
30 年以上 35 年未満			3	4	9	2			16
35 年以上	1	3	5	18	6	10			47
合計	1	3	8	26	77	101(2)	28(2)	54(1)	298(5)
平均 (年)	37	37.7	35.6	34.9	25.5	18.6	6.0	2.5	18.4
再任用職員									

() 内は女性職員数

5 職員研修状況

[単位：人]

研修学科等		受講者数	
消防大学校	専科教育	指揮隊長コース	1
		救助科	1
		幹部科	1
山口県消防学校	初任総合教育		10
	専科教育	予防査察科	3
		火災調査科	3
		救助科	3
	特別教育	水難救助科	3
	幹部教育	初級幹部科	1
その他の教育	大規模災害対策科・消防団指導科	4	
救急救命士養成研修所	救急救命士研修課程・指導救命士養成研修		3
山口県ひとつづくり財団	地方自治法講座		1
	法制執務セミナーⅠ		1
	法制執務セミナーⅡ		1
	危機管理実務講座		1
	災害対応講座		1
	プレゼンテーションセミナー		1
	折衝・交渉力向上講座		1
	メンタルヘルス（ラインケア）講座		1
	契約事務講座		1
	クレーム対応力向上講座		1
	自治体職員の働き方講座		1
	議会对応実務講座		1
その他	KHK 危険物保安技術講習ほか		3
	予防技術講習		1
	企業防災対策指導研修		1
	消防実務講習		1
	消防職員安全衛生研修		1
	火薬類取締法研修		1
	違反処理講習		11
	非常時における外国人とのコミュニケーション（消防コース）		1

6 特殊技能・技術資格者

[単位：人]

種別			
自動車免許	大型	第一種	210
		第二種	1
		特殊	7
	中型	11 t	68
		限定 8 t	210
	普通	第一種	298
		第二種	1
	自 一	普通自動 2 輪	109
		大型自動 2 輪	29
予 防	予防技術（防火査察専門員）		87
	予防技術（消防用設備専門員）		28
	予防技術（危険物専門員）		23
	消防設備士		16
	毒劇物取扱者		7
	危険物取扱者（甲種）		6
	危険物取扱者（乙種）		64
	危険物取扱者（丙種）		28
情 報 指 令	アマチュア無線技術者		16
	特殊無線技士（2 級）		191
	特殊無線技士（3 級）		92

[単位：人]

種別			
救 急	救急救命士		55
	指導救命士		4
	認定救命士（薬剤投与）		54
	認定救命士（気管挿管）		38
	認定救命士（薬剤・気管）		38
	救急科（標準課程・Ⅱ課程）		137
	警 防 ・ 救 助	小型移動式クレーン	
玉掛技能講習修了者		116	
足場組立作業主任者		21	
酸素欠乏作業主任者		19	
小型船舶操縦士		47	
潜水士		135	
水上安全救助員		33	
水上安全指導員		3	
ガス溶接講習修了者		69	
有機溶剤作業主任者		3	
そ の 他	酸欠・硫化水素作業主任者		31
	ボイラー技士		13
	衛生管理者		8
	電気工事士		8
自動車整備免許		2	

7 消防予算(平成30年度当初予算)

(1) 歳入

[単位：千円]

款	平成30年度予算額	平成29年度予算額	比較
分担金及び負担金	2,956,916	2,853,300	103,616
使用料及び手数料	21,465	22,020	△555
県支出金	59,784	53,108	6,676
繰越金	1,000	1,000	0
諸収入	125,178	4,426	120,752
組合債	18,500	19,400	△900
歳入合計	3,182,843	2,953,254	229,589

(2) 歳出

[単位：千円]

款	平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	比較	平成30年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
議会費	369	374	△5				369
総務費	13,263	13,433	△170			482	12,781
消防費	2,890,347	2,793,343	97,004	59,784	18,500	47,731	2,764,332
公債費	274,864	142,104	132,760			120,885	153,979
予備費	4,000	4,000	0				4,000
歳出合計	3,182,843	2,953,254	229,589	59,784	18,500	169,098	2,935,461

(3) 分担金の内訳

[単位：千円]

区分 構成市	構成市 当初予算額(A)	構成市 分担金(B)	比率 (%) B/A×100	分担金の内訳	
				分担金	特別分担金
宇部市	63,520,000	1,967,956	3.09	1,796,374	171,582
山陽小野田市	29,676,000	962,942	3.24	909,009	53,933
合計	93,196,000	2,930,898	3.14	2,705,383	225,515

(4) 消防組合予算と管内人口・世帯数との割合

消防組合予算	1人当たりの 消防組合予算	1世帯当たりの 消防組合予算	人口/世帯数
3,182,843,000円	13,878円	29,487円	229,336人
			107,938世帯

(5) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合

消防吏員1人に対して			消防署数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急自動車1台に対して		
面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口
1.4	362.2	769.5	104.9	26,984.5	57,334.0	24.6	6,349.2	13,490.3	38.1	9,812.5	20,848.7
298人			4署			17台			11台		

8 消防庁舎

(1) 宇部・山陽小野田消防局，宇部中央消防署

所在地：宇部市港町二丁目3番30号 敷地面積：3,297.84 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造3階建	2,720.68 m ²	H元年1月
訓練塔	鉄筋コンクリート造6階建	264.00 m ²	H元年1月
車庫・点検場	鉄骨造平屋建（泡原液貯蔵タンク6kl）	231.00 m ²	H元年1月
自転車置場	鉄骨造平屋建	25.60 m ²	H元年1月

(2) 小野田消防署（消防訓練研修センター）

所在地：山陽小野田市高栄一丁目6番1号 敷地面積：11,415.85 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造2階建	2,397.30 m ²	H11年3月
電気室棟	コンクリートブロック造平屋建	64.48 m ²	H11年3月
車庫倉庫棟	コンクリートブロック造平屋建	286.83 m ²	H11年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	21.72 m ²	H11年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造5階建（補助塔3階）	342.13 m ²	H12年1月
消火薬剤タンク	鉄骨造（タンクSUS製20kl）	58.36 m ²	H12年3月
消火薬剤倉庫	鉄骨造平屋建	63.90 m ²	H12年3月

(3) 宇部西消防署

所在地：宇部市厚南中央五丁目6番22号 敷地面積：1,974.44 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	684.57 m ²	S53年4月
倉庫棟	ブロック造平屋建	54.92 m ²	S53年4月
自転車置場	鉄骨造平屋建	6.00 m ²	S53年4月
車庫棟	鉄骨造平屋建	102.13 m ²	H16年3月

(4) 山陽消防署

所在地：山陽小野田市大字厚狭487番地9 敷地面積：4,542.94 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	1,290.71 m ²	H25年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造3階建	105.00 m ²	H25年3月
倉庫棟	鉄筋コンクリート造3階建	90.00 m ²	H25年3月
自転車置場	鉄骨造平屋建	15.00 m ²	H25年3月

(5) 宇部中央消防署東部出張所

所在地：宇部市大字西岐波761番地1 敷地面積：1,187.03 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	430.86 m ²	S55年4月
倉庫・自転車置場棟	ブロック造平屋建	30.00 m ²	S55年4月

(6) 宇部西消防署北部出張所

所在地：宇部市大字荒瀬11051番地 敷地面積：1,500.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	520.65 m ²	H7年4月

(7) 宇部西消防署楠出張所

所在地：宇部市大字船木461番地1 敷地面積：3,215.19 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	635.24 m ²	H30年3月
訓練棟	鉄筋コンクリート造2階建	26.15 m ²	H30年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	14.70 m ²	H30年3月

(8) 山陽消防署埴生出張所

所在地：山陽小野田市大字埴生3229番地12 敷地面積：853.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	243.55 m ²	S56年4月

予 防



宇部・山陽小野田防災協会 5周年

平成24年に宇部市防災協会と山陽小野田市危険物安全協会が合併し、宇部・山陽小野田防災協会が発足しました。平成29年をもって5周年を迎え、記念式典を開催しました。

火災予防作品表彰式

「火災予防作品」の表彰式をおのだサンパークで開催しました。絵画、ポスター、習字及び防火標語の部で多数の素晴らしい作品を出品いただきました。



全国統一防火標語

(過去10年間)

平成30年度	忘れてない? サイフにスマホに火の確認
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあただよ
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成23年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
平成22年度	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

危険物安全週間(毎年6月の第2週)推進標語

(過去10年間)

平成30年度	この一球届け無事故へみんなの願い
平成29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる!
平成28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク
平成27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい
平成26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害
平成25年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔
平成24年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害
平成23年度	危険物無事故のゴールは譲れない!
平成22年度	危険物 事故は瞬間 無事故は習慣
平成21年度	安全は 意識と知識と 心掛け

1 防火対象物

(1) 棟数及び立入検査

防火対象物用途区分			防火対象物数 [単位：棟]			立入検査回数 [単位：件]
			宇 部 市	山陽小野田市	合 計	
1	イ	劇場・映画館	3	6	9	5
	ロ	公会堂・集会場	58	24	82	32
2	イ	キャバレー・カフェ	1		1	
	ロ	遊技場・ダンスホール	26	6	32	6
	ハ	性風俗施設等				
	ニ	カラオケボックス等	7		7	2
3	イ	待合・料理店	2	5	7	5
	ロ	飲食店	132	33	165	54
4		百貨店・マーケット	265	100	365	117
5	イ	旅館・ホテル	37	19	56	32
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,138	569	2,707	891
6	イ	病院・診療所等	184	58	242	70
	ロ	老人短期入所施設等	94	30	124	46
	ハ	老人デイサービスセンター等	148	49	197	69
	ニ	幼稚園・特別支援学校	37	9	46	13
7		小中高大学及び各種学校	293	104	397	130
8		図書館・博物館	5	2	7	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1		1	
	ロ	公衆浴場	5	2	7	2
10		駅舎・空港	3	4	7	1
11		神社・寺院・教会	119	55	174	46
12	イ	工場・作業場	1,069	409	1,478	373
	ロ	映画スタジオ	1		1	
13	イ	自動車車庫	101	34	135	34
	ロ	飛行機等の格納庫	2		2	
14		倉庫	887	308	1,195	306
15		前各号に該当しない事業所	749	368	1,117	221
16	イ	特定用途を含む複合対象物	347	106	453	110
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	251	69	320	65
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財保護法にいう建物		1	1	
18		延長50m以上のアーケード	4		4	
19		市長村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			6,969	2,370	9,339	2,632

(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況

[単位：箇所]

防火対象物用途区分			定期点検対象物				防災管理対象物			
			対象物数		特例認定適合対象物数		対象物数		特例認定適合対象物数	
			宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市
1	イ	劇場・映画館	1	3						
	ロ	公会堂・集会場	27	15	3	1				
2	イ	キャバレー・カフェ								
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	3						
	ハ	性風俗施設等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	5							
4		百貨店・マーケット	48	17	4					
5	イ	旅館・ホテル	2	3		2				
	ロ	寄宿舎・共同住宅								
6	イ	病院・診療所等	8	3			1	1		
	ロ	老人短期入所施設等	1							
	ハ	老人デイサービスセンター等	1							
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3							
7		小中高大学及び各種学校								
8		図書館・博物館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		駅舎・空港								
11		神社・寺院・教会								
12	イ	工場・作業場					4	1		
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫								
15		前各号に該当しない事業所								
16	イ	特定用途を含む複合対象物	43	10	10	1	5	1	2	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物					8	6		
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財保護法にいう建物								
18		延長50m以上のアーケード								
19		市町村長の指定する山林								
20		総務省令で定める舟車								
合 計			150	54	17	4	18	9	2	0

2 建築確認同意処理件数

[単位：件]

防火対象物別			区分	宇 部 市				山陽小野田市				総 計
				新 築	増 築	その他	合 計	新 築	増 築	その他	合 計	
1	イ	劇場・映画館										
	ロ	公会堂・集会場	2	1		3						3
2	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場・ダンスホール			1	1						1
	ハ	性風俗施設等										
	ニ	カラオケボックス等										
3	イ	待合・料理店										
	ロ	飲食店	8		2	10						10
4		百貨店・マーケット	10	1	3	14	2				2	16
5	イ	旅館・ホテル	1			1						1
	ロ	寄宿舎・共同住宅	21			21	9				9	30
6	イ	病院・診療所等	3	3		6						6
	ロ	老人短期入所施設等	2	3		5	2	3	3	8		13
	ハ	老人デイサービスセンター等	13	2	1	16	2		1	3		19
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1			1						1
7		小中高大学及び各種学校	4	1	1	6	2	1	3	6		12
8		図書館・博物館										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場										
	ロ	公衆浴場										
10		駅舎・空港										
11		神社・寺院・教会	3		1	4	2			2		6
12	イ	工場・作業場	17	2	1	20	6	2	2	10		30
	ロ	映画スタジオ										
13	イ	自動車車庫	2			2	1			1		3
	ロ	飛行機等の格納庫										
14		倉庫	22	1	2	25	10			10		35
15		前各号に該当しない事業所	31	2		33	13	1		14		47
16	イ	特定用途を含む複合対象物	4	1		5	1		1	2		7
	ロ	特定用途を含まない複合対象物		2		2	1			1		3
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		文化財保護法にいう建物										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村長の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車										
住 宅			101	2	4	107	38		3	41		148
危 険 物 施 設			2			2	2			2		4
そ の 他			2			2	3		2	5		7
合 計			249	21	16	286	94	7	15	116		402

3 防火管理者選任状況

[単位：箇所]

防火対象物区分			法第8条該当防火対象物数			防火管理者届出済対象物数		
			宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計
1	イ	劇場・映画館	1	5	6	1	3	4
	ロ	公会堂・集会場	52	18	70	42	18	60
2	イ	キャバレー・カフェー	1		1	1		1
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	4	17	13	4	17
	ハ	性風俗施設等						
	ニ	カラオケボックス等	7		7	7		7
3	イ	待合・料理店		3	3		3	3
	ロ	飲食店	140	29	169	105	29	134
4		百貨店・マーケット	202	75	277	179	69	248
5	イ	旅館・ホテル	22	17	39	22	17	39
	ロ	寄宿舎・共同住宅	134	58	192	95	34	129
6	イ	病院・診療所等	39	20	59	38	20	58
	ロ	老人短期入所施設等	58	27	85	52	23	75
	ハ	老人デイサービスセンター等	61	31	92	57	31	88
	ニ	幼稚園・特別支援学校	17	8	25	16	8	24
7		小中高大学及び各種学校	27	27	54	25	25	50
8		図書館・博物館	4	2	6	4	2	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場	1	1	2	1	1	2
10		駅舎・空港		2	2		1	1
11		神社・寺院・教会	70	30	100	65	28	93
12	イ	工場・作業場	15	46	61	12	40	52
	ロ	映画スタジオ						
13	イ	自動車車庫	2	1	3	2	1	3
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	5	1	6	3	1	4
15		前各号に該当しない事業所	88	48	136	79	40	119
16	イ	特定用途を含む複合対象物	246	61	307	208	50	258
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	185	16	201	169	13	182
16の2		地下街						
16の3		準地下街						
17		文化財保護法にいう建物		1	1			
18		延長50m以上のアーケード						
19		市長村長の指定する山林						
20		総務省令で定める舟車						
合計			1,390	531	1,921	1,196	461	1,657

4 危険物施設設置状況

[単位：箇所]

区 分		宇 部 市	山陽小野田市	施設別合計
製 造 所		31	38	69
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	106	99	205
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	235	287	522
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	7		7
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	69	32	101
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	101	75	176
	屋 外 貯 蔵 所	18	23	41
取 扱 所	給 油 取 扱 所	76	37	113
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3		3
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1		1
	一 般 取 扱 所	201	103	304
	移 送 取 扱 所	2	2	4
構 成 市 別 合 計		850	696	1,546

5 危険物許認可状況

[単位：件]

区 分		設置許可	変更許可	仮使用	設置完成	変更完成	廃 止
製 造 所		1	49	35	1	50	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	4	9	4	2	9	
	屋外タンク貯蔵所	3	56	36	6	41	9
	屋内タンク貯蔵所						
	地下タンク貯蔵所		4	2		2	3
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	8	5		8	5	2
	屋 外 貯 蔵 所	2	2		2	2	1
小 計		17	76	42	18	59	15
取 扱 所	給 油 取 扱 所		10	9		10	
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	一 般 取 扱 所	2	115	106	3	114	3
	移 送 取 扱 所		1	1		1	1
小 計		2	126	116	3	125	4
合 計		20	251	193	22	234	20

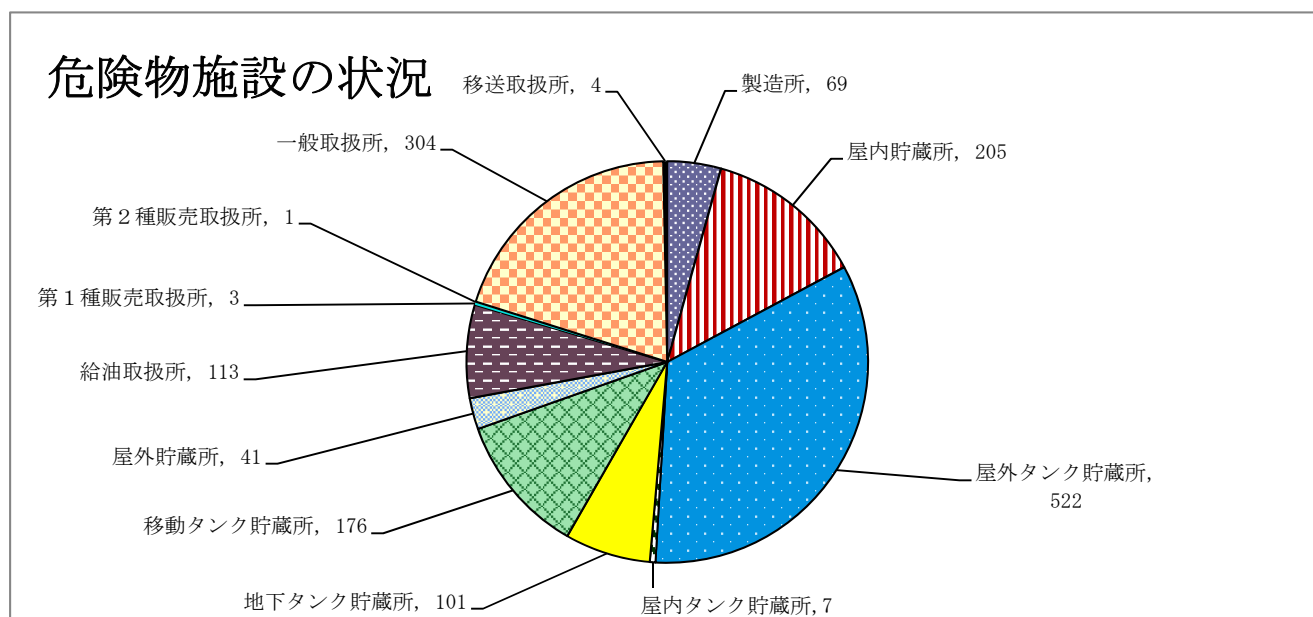
[単位：件]

完成検査前検査	水 張 水 圧 検 査	47
	基 礎 地 盤 検 査	
	溶 接 部 検 査	1
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		24
水 張 水 圧 検 査 (条 例)		

6 危険物施設の現況及び立入検査状況

[単位：件]

区 分		類 別								立 入 検 査 数
		1類	2類	3類	4類	5類	6類	混類	計	
製 造 所		2	2		31		1	33	69	72
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	11	2	6	154	6	1	25	205	73
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6		496	2	18		522	177
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				7				7	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				101				101	29
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所				163		13		176	160
	屋 外 貯 蔵 所		1		40				41	21
取 扱 所	給 油 取 扱 所				113				113	75
	第 1 種 販 売 取 扱 所				3				3	
	第 2 種 販 売 取 扱 所				1				1	
	一 般 取 扱 所	1	3		278		5	17	304	120
	移 送 取 扱 所				3		1		4	1
合 計		14	14	6	1,390	8	39	75	1,546	728



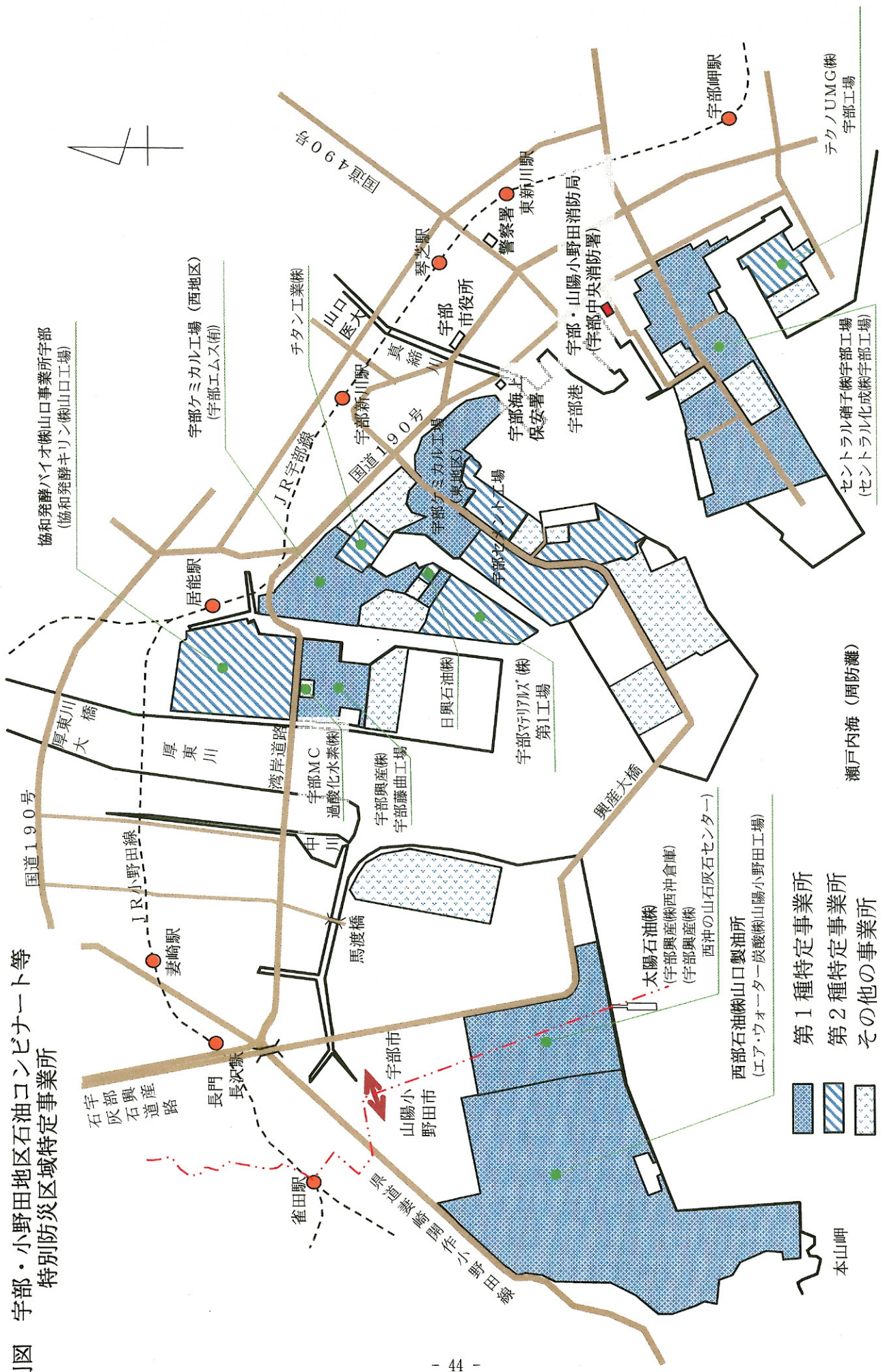
7 宇部・小野田地区特別防災区域

(1) 宇部市

東側は、宇部市大字沖宇部字沖ノ山、テクノUMG(株)宇部工場敷地から、西側は厚東川河口の大字西沖ノ山字西沖、宇部市と山陽小野田市の市境までの埋立臨海工業地帯で周防灘に面し、指定区域の総面積は6,659,769平方メートルで、その状況は別図のとおりである。

区域の名称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市名	宇部市			
市の面積	286.65 km ²			
市の人口	166,023人 (世帯数：79,039世帯)			
様態	化学工場、火力発電、その他			
地区	面積 m ²	種別及び事業所名		
		第1種事業所	第2種事業所	その他の事業所
東見初町及び大字沖宇部字沖ノ山	1,153,795	◇セントラル硝子(株) 宇部工場 (セントラル化成(株) 宇部工場)	◇テクノUMG(株)宇部工場	◇宇部吉野石膏(株) ◇(株)東商セントラル ◇セントラル硝子(株) 化学研究所(宇部) ◇宇部市上下水道局 東部浄化センター ◇宇部市環境保全センター ◇セントラルエンジニアリング(株)
大字小串字沖ノ山	2,422,225	◇宇部興産(株) 宇部ケミカル工場 (宇部エムス(有))	◇宇部興産(株) 宇部セメント工場 ◇日興石油(株) 沖の山油槽所 ◇チタン工業(株) 宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第一工場	◇宇部興産(株)建設資材カンパニー技術開発研究所 ◇宇部興産(株)研究開発本部 有機化学研究所 ◇(株)宇部スチール ◇宇部興産機械(株) ◇明和化成(株) ◇エムシー・ファーターイコム(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第二工場
大字藤曲字昭和開作	776,986	◇宇部興産(株) 宇部藤曲工場	◇協和発酵バイオ(株) 山口事業所宇部 (協和発酵キリン(株) 宇部工場) ◇宇部MC過酸化水素(株) 宇部工場	
大字西沖ノ山字西沖	2,306,763	◇太陽石油(株)山口事業所 (宇部興産(株)西沖の山 石灰石センター) (宇部興産(株)西沖倉庫)		◇宇部興産(株) 特大車西沖給油所
合計	6,659,769	4	7	14

別図 宇部・小野田地区石油コンビナート等
特別防災区域特定事業所



8 火薬類取締法関係処理状況

[単位：件]

区 分 市 別	許 可						
	製造営業	販売営業	譲渡	譲受	消費	廃棄	火薬庫 設置・変更
宇 部 市			2	8	9		
山陽小野田市			3	3	11	2	
合 計			5	11	20	2	

9 消防協力団体の現況

(1) 宇部・山陽小野田防災協会

ア 目 的

この協会は、消防法に定める危険物関係施設及び一般防火対象物の火災予防に関する法令等の周知徹底と防火思想の普及高揚に努めるとともに、会員相互の連絡と親睦を図り、もって各種災害の未然防止及び災害が発生した場合の被害の軽減に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) 消防関係法令の周知徹底並びに消防機関との連絡協調に関すること。
- (イ) 消防関係法令に基づいて消防機関へ提出する申請書、届出書等の斡旋、配布に関すること。
- (ウ) 防火管理者、危険物取扱者並びに消防設備士の研修及び講習会の開催に関すること。
- (エ) 火災予防のために必要な対策の研究及び調査に関すること。
- (オ) 火災予防の広報及び刊行物の発行、斡旋に関すること。
- (カ) 危険物に起因する災害が発生した場合の化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (キ) この協会の目的達成に功績のあった団体及び個人の表彰に関すること。
- (ク) 少年消防クラブ等の自主防災活動の助成に関すること。
- (ケ) 救急思想の普及及び啓発活動に関すること。
- (コ) その他、この協会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

ウ 会 員

572 事業所

エ 事 務 局

宇部・山陽小野田消防局（予防課）

(2) 宇部・山陽小野田防火委員会

ア 目 的

本会は、宇部市及び山陽小野田市における幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの運営指導について研究し、助言し、育成発展に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) クラブの情報の収集及び交換に関すること。
- (イ) クラブの運営指導の研究に関すること。
- (ウ) クラブの育成指導に関すること。
- (エ) 教養資料の編さん及び頒布に関すること。
- (オ) クラブ、クラブ員及びクラブ指導者の表彰に関すること。
- (カ) その他、本会の目的達成のため必要な事項に関すること。

ウ クラブ数

区分	クラブ名称	結成年月	人数 (人)
幼年消防クラブ	恩田幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	85
	聖和幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	74
	命信寺保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	31
	桃山保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	20
	若蔦幼稚園幼年消防クラブ	昭和 60 年 4 月	0
	原中央幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 2 月	66
	小羽山幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月	11
	明光幼稚園幼年消防クラブ	昭和 63 年 3 月	129
	船木幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 9 月	9
	宇部さゆり幼稚園幼年消防クラブ	平成 28 年 4 月	24
	真珠幼稚園幼年消防クラブ	昭和 58 年 9 月	41
	石井手保育園幼年消防クラブ	昭和 60 年 6 月	26
	焼野保育園幼年消防クラブ	平成 2 年 7 月	23
	伸宏保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 8 月	19
	西福寺保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 10 月	14
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 8 月	20
	須恵保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 10 月	29
	日の出保育園幼年消防クラブ	平成 8 年 9 月	31
少年消防クラブ	厚南地区少年消防クラブ	昭和 55 年 4 月	60
	恩田地区少年消防クラブ	昭和 55 年 5 月	7
	高千帆中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	493
	小野田中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	353
	竜王中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	221
	厚狭中学校少年消防クラブ	昭和 45 年 3 月	365
	埴生中学校少年消防クラブ	昭和 46 年 3 月	103
	厚陽中学校少年消防クラブ	昭和 47 年 6 月	48
婦人防火クラブ	新川女性防火クラブ	昭和 55 年 6 月	30
	埴生漁協婦人防火クラブ	昭和 58 年 8 月	16
総計	28 団体		2,348

警

防



警防技術練成会（第4回）

経験豊富な消防職員から知識・技術の伝承を行い、円滑な世代交代を行うとともに、技術の向上を目的とし練成会を実施しました。

交通事故対応訓練

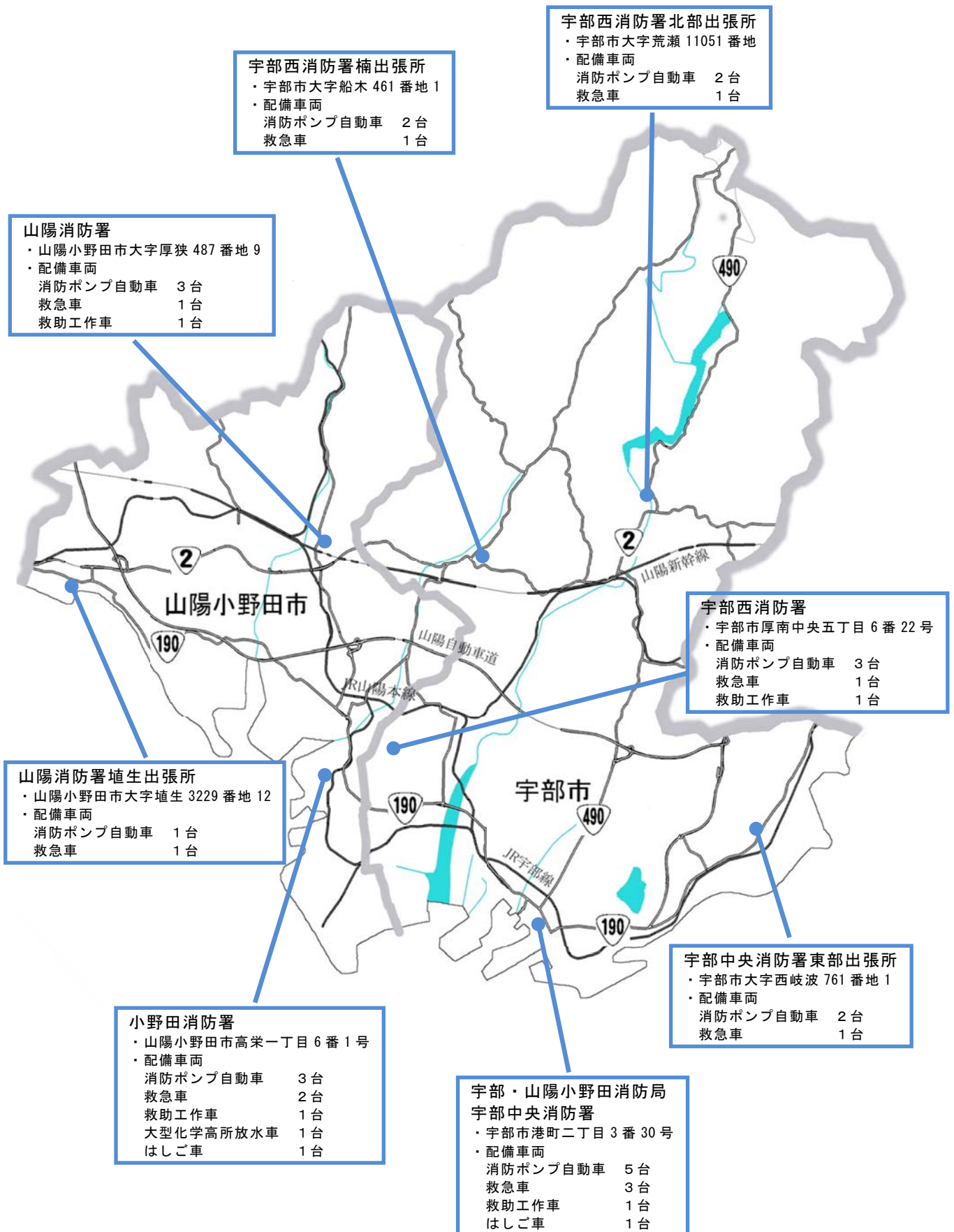
交通救助活動を円滑に行うこと及び救助活動中における危険因子の把握、安全管理能力の向上を目的として交通事故対応訓練を実施しました。



緊急消防援助隊

		登録隊数	
		山口県全体	宇部・山陽小野田消防局
山口県大隊	統合機動部隊指揮隊	1	
	県大隊指揮隊	3	1
	消火小隊	28	5
	救助小隊	7	2
	救急小隊	20	2
	後方支援小隊	11	1
	航空小隊	1	
	特殊災害小隊	2	
	特殊装備小隊	6	
	合計	79	11

1 消防配置図



2 消防車両

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	導入年月	ポンプ級別等
消防局	本部 1	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	本部 2	支 援 車	マ ツ ダ	H20 年 2 月	
	本部 3	支 援 車	ト ヨ タ	H28 年 12 月	
	本部 4	支 援 車	日 産	H14 年 3 月	
	本部 5	連 絡 車	ス ズ キ	H27 年 7 月	
	本部 6	連 絡 車	ス ズ キ	H27 年 8 月	
	本部 7	支 援 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	本部 9	支 援 車	マ ツ ダ	H14 年 3 月	
宇部中央消防署	中央指揮 1	指 揮 車	い す ゞ	H13 年 3 月	
	中央はしご 1	はしご付消防自動車	日 野	H22 年 11 月	
	中央タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H26 年 12 月	A-2
	中央ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H20 年 12 月	A-2
	中央ポンプ 2	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H30 年 2 月	A-2
	中央資材 1	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H12 年 2 月	
	中央資材 2	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H12 年 2 月	2.2t クレーン付
	中央大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H10 年 12 月	A-1
	中央化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H24 年 3 月	A-2
	中央救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H13 年 12 月	
	中央充填 1	空 気 充 填 車	日 野	H15 年 2 月	
	中央救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H28 年 1 月	
	中央救急 2	救 急 車	日 産	H21 年 10 月	
	中央救急 3	救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	
	中央 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	
中央 2	支 援 車	マ ツ ダ	H14 年 3 月		
宇部中央消防署 東部出張所	東タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H14 年 12 月	A-2
	東ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A-2
	東救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H24 年 2 月	
	東 1	広 報 車	ス バ ル	H14 年 3 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
宇部西消防署	西指揮 1	指 揮 車	三 菱	H22 年 3 月	
	西タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H29 年 3 月	A-2
	西ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H27 年 3 月	A-2
	西化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2
	西救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 11 月	
	西救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H29 年 3 月	
	西資材 1	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H29 年 12 月	
	西 2	広 報 車	ス バ ル	H14 年 3 月	
北部出張所 宇部西消防署	北タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H25 年 2 月	A-2
	北ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A-2
	北救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	北 1	広 報 車	ダイハツ	H12 年 2 月	
楠出張所 宇部西消防署	楠タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 12 月	A-2
	楠ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19 年 11 月	A-2
	楠救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 12 月	
	楠 1	広 報 車	三 菱	H21 年 11 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	導入年月	ポンプ級別等
小野田消防署	小野田指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H30 年 2 月	
	小野田はしご 1	はしご付消防自動車	日 野	H14 年 2 月	
	小野田タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2
	小野田タンク 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H13 年 3 月	A-2
	小野田ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2
	小野田水槽 1	小型動力ポンプ付水槽車	い す ゞ	H10 年 3 月	B-2 (小型動力ポンプ)
	小野田資材 1	資 機 材 搬 送 車	ト ヨ タ	H13 年 1 月	2.93t クレーン付
	小野田大化高 1	大型化学高所放水車	日 野	H26 年 3 月	A-1
	小野田原液 1	泡 原 液 搬 送 車	日 野	H17 年 2 月	ギヤ式ローター ポンプ
	小野田救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 3 月	
	小野田救急 1	救 急 車	日 産	H22 年 3 月	
	小野田救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H28 年 3 月	
	小野田 1	支 援 車	ト ヨ タ	H20 年 12 月	
	小野田 2	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	H15 年 3 月	
	小野田 4	広 報 車	ダイハツ	H29 年 12 月	
小野田 5	訓 練 指 導 車	マ ツ ダ	H16 年 8 月		

所属	車両名称	種別	車 両 メーカー	導入年月	ポンプ級別等
山陽消防署	山陽指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	山陽タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	い す ゞ	H13 年 2 月	A-2
	山陽ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2
	山陽資材 1	資 機 材 搬 送 車	日 野	H10 年 3 月	
	山陽大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 3 月	A-1
	山陽救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H22 年 3 月	
	山陽救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	
	山陽 1	広 報 車	ト ヨ タ	H15 年 2 月	
山陽消防署 殖生出張所	殖生タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H16 年 1 月	A-2
	殖生救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H30 年 1 月	
	殖生 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	

3 消防水利

(1) 消火栓

[単位：基]

公設私設別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
	公 設		1,943
私 設		241	61
合 計		2,184	1,397

(2) 防火水槽

() 耐震性貯水槽

[単位：基]

容量別	市 別	宇 部 市		山陽小野田市	
		公 設	私 設	公 設	私 設
20 m ³ 以上 40 m ³ 未満		8 (0)	3 (0)	12 (0)	4 (0)
40 m ³ 以上 60 m ³ 未満		101 (15)	39 (11)	145 (0)	22 (3)
60 m ³ 以上 100 m ³ 未満		12 (10)	4 (0)	0 (0)	1 (0)
100 m ³ 以上		5 (4)	2 (0)	11 (10)	0 (0)
合 計		126 (29)	48 (11)	168 (10)	27 (3)

(3) その他

[単位：箇所]

種別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
	プール・河川・溝・濠・池 海・湖・井戸・下水道等		79

4 化学消火剤備蓄状況

[単位：リットル]

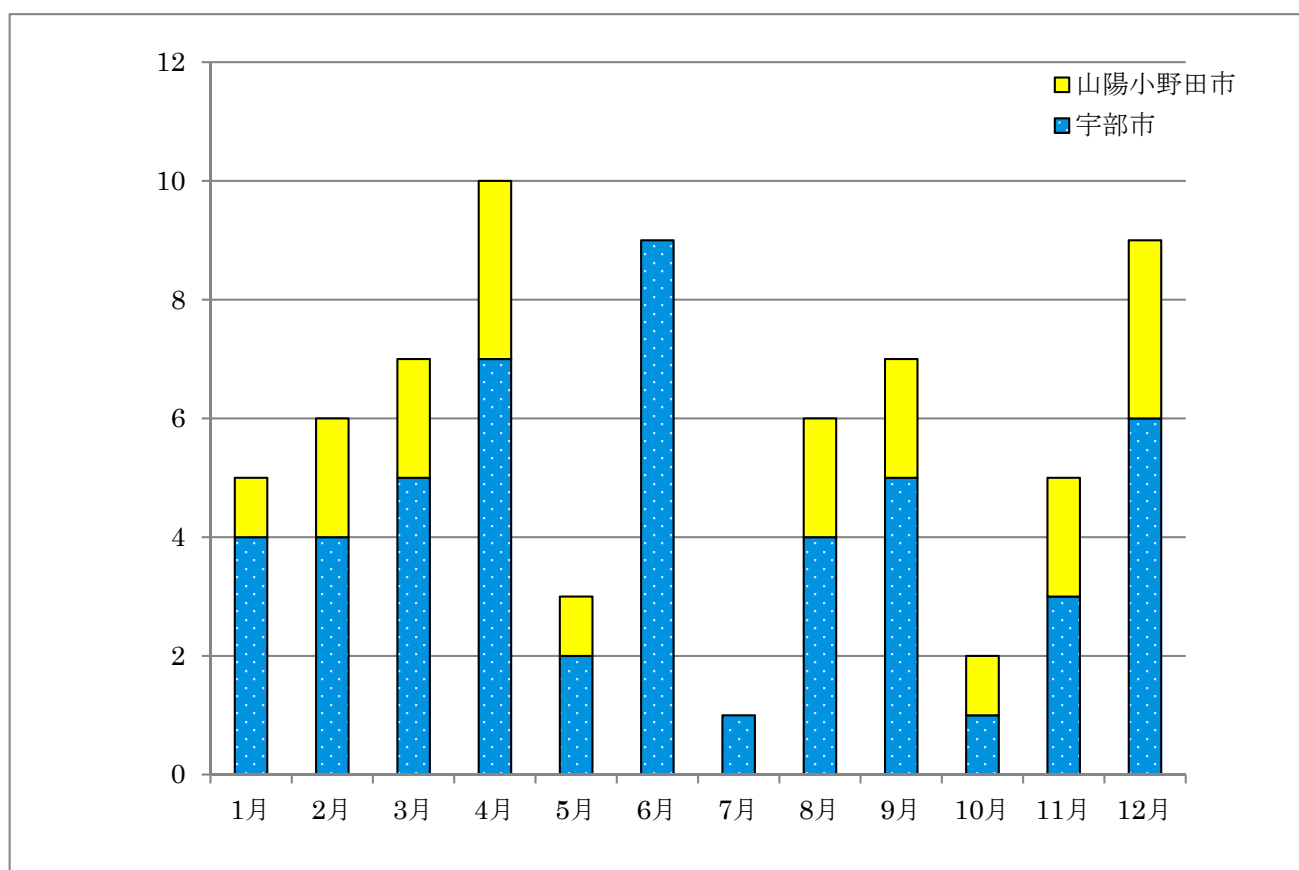
種類	消防組合保有		防災協会保有	合 計
	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄		
たん白系3%型			2,400	2,400
フッ化たん白		20,840	14,600	35,440
合成界面活性系	2,080		17,840	19,920
水成膜3%型	600		8,600	9,200
合 計	2,680	20,840	43,440	66,960

5 火災

(1) 月別火災発生状況

[単位：件]

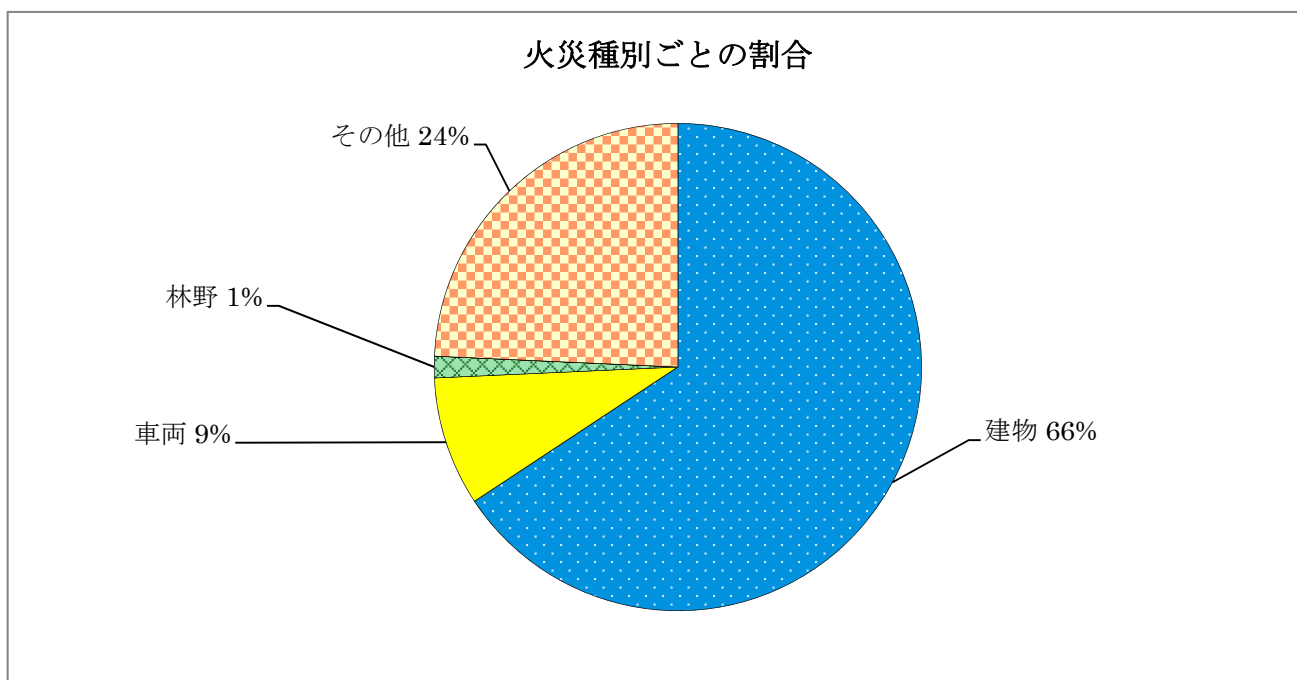
市別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
宇部市	4	4	5	7	2	9	1	4	5	1	3	6	51
山陽小野田市	1	2	2	3	1			2	2	1	2	3	19
合計	5	6	7	10	3	9	1	6	7	2	5	9	70



(2) 火災種別ごとの件数

[単位：件]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市		32	5	1	0	0	13
山陽小野田市		14	1	0	0	0	4	19
合 計		46	6	1	0	0	17	70



(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者

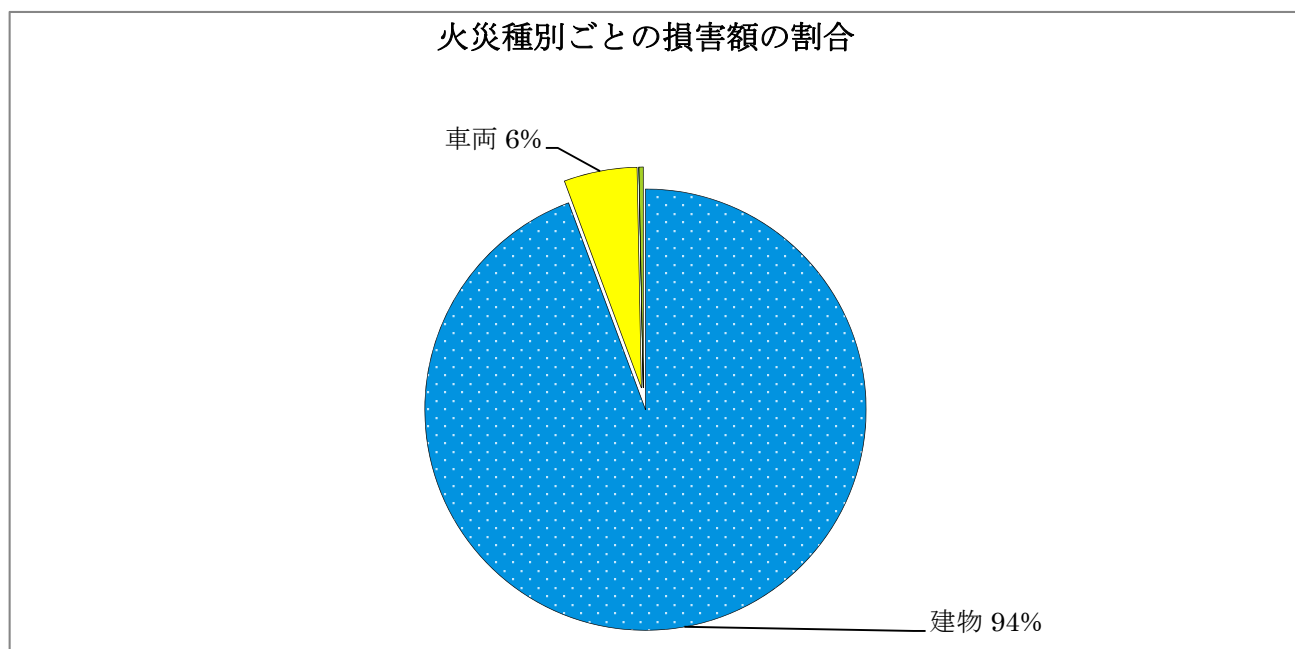
[単位：人]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市	死 者	1					
負 傷 者		11						11
山陽小野田市	死 者						1	1
	負 傷 者	3						3
合 計	死 者	1					1	2
	負 傷 者	14						14

(4) 火災種別ごとの損害額

[単位：千円]

市別	種別	建 物		車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
宇 部 市	建 物	177,559	12,433					738	217,240
	収容物等	26,510							
山陽小野田市	建 物	15,479	300					4	20,395
	収容物等	4,612							
合 計	建 物	193,038	12,733					742	237,635
	収容物等	31,122							



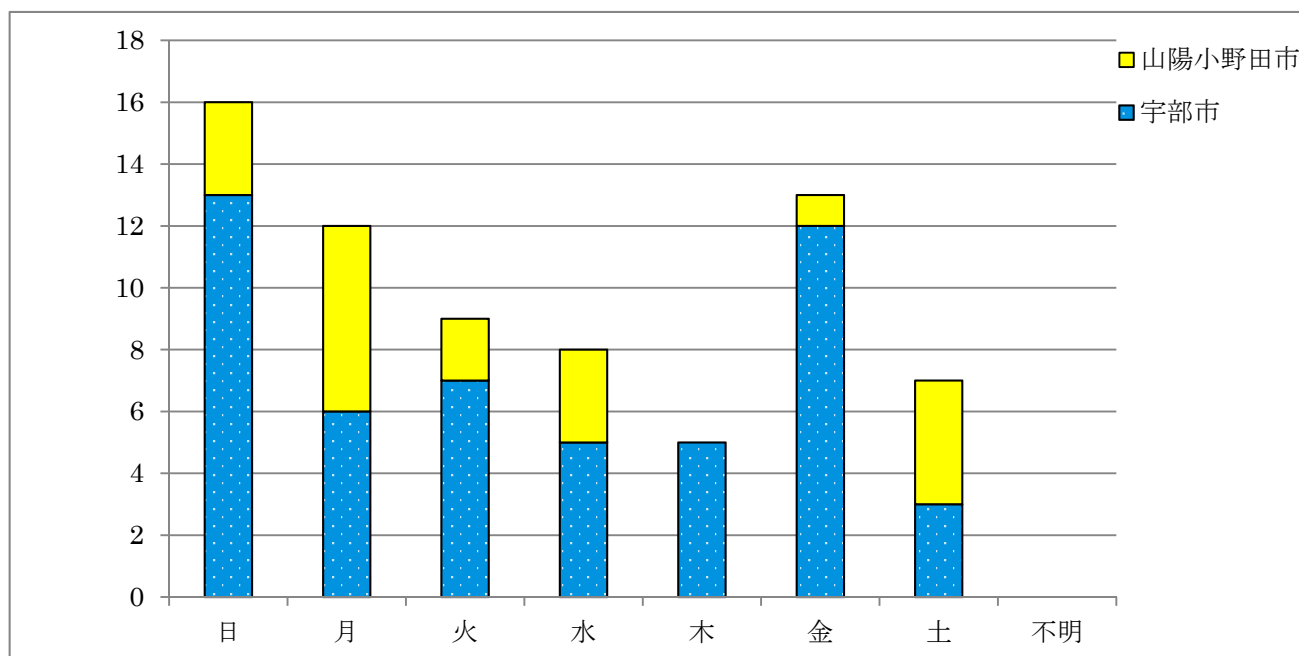
(5) 焼損面積

市別	種別	建 物 (㎡)		林 野 (a)	その他 (㎡)
		焼損床面積	焼損表面積		
宇 部 市		2,653	341	22	2,110
山陽小野田市		314	21	0	4,849
合 計		2,967	362	22	6,959

(6) 曜日別火災発生状況

[単位：件]

月別 曜日別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
日	1	1	3	1		3		1	3	1	1	1	16
月	2	1		3	2	1		1	1			1	12
火		2		2	1	1		1			1	1	9
水			2	2				2			1	1	8
木	1	1				1	1					1	5
金	1		1	1		1		1	2	1	1	4	13
土		1	1	1		2			1		1		7
不明													
合計	5	6	7	10	3	9	1	6	7	2	5	9	70

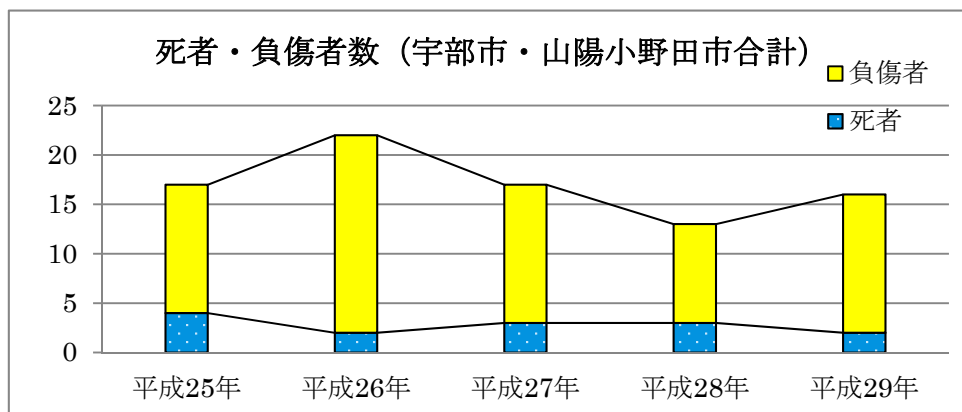
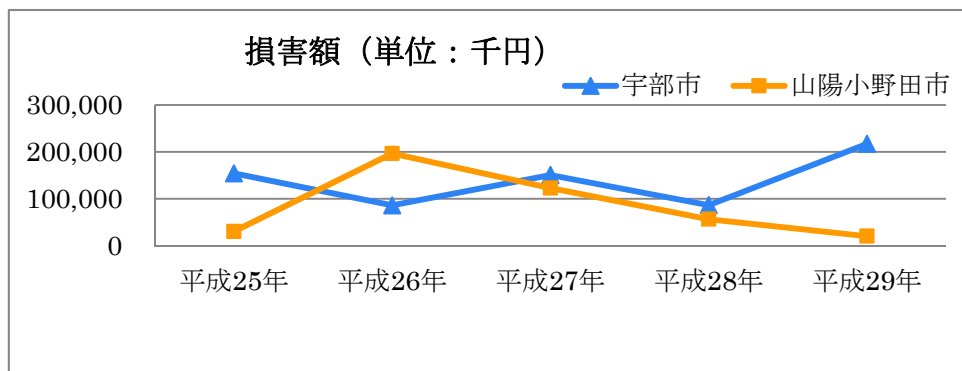
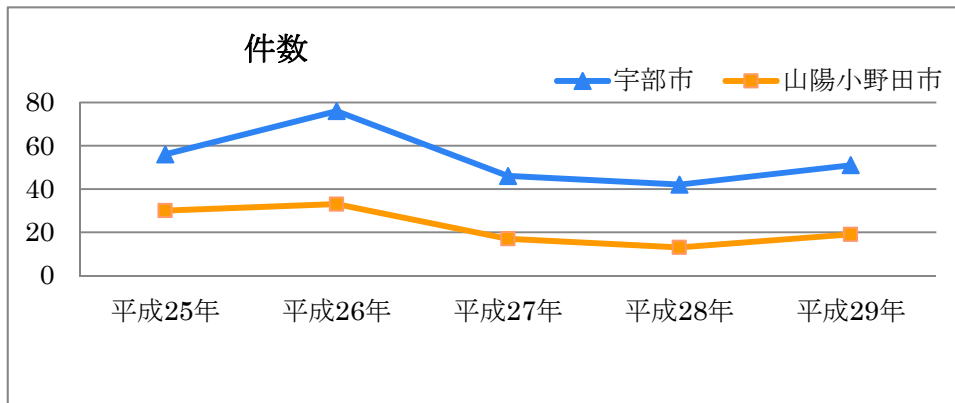


(7) 時間帯別火災発生状況

時間帯	件数・死傷者数 件数 (件)	死傷者 (人)	
		死 者	負傷者
0時～1時	4		2
1時～2時	1		
2時～3時			
3時～4時	2		
4時～5時	1		
5時～6時	1		1
6時～7時	1		
7時～8時	3		1
8時～9時	3		1
9時～10時			
10時～11時	7		1
11時～12時	4		1
12時～13時	3		
13時～14時	6		
14時～15時	6	1	1
15時～16時	7	1	1
16時～17時	3		
17時～18時	5		
18時～19時	2		1
19時～20時	4		2
20時～21時	4		1
21時～22時	1		1
22時～23時	2		
23時～24時			
不 明			
合 計	70	2	14

(8) 過去5年間の火災発生状況

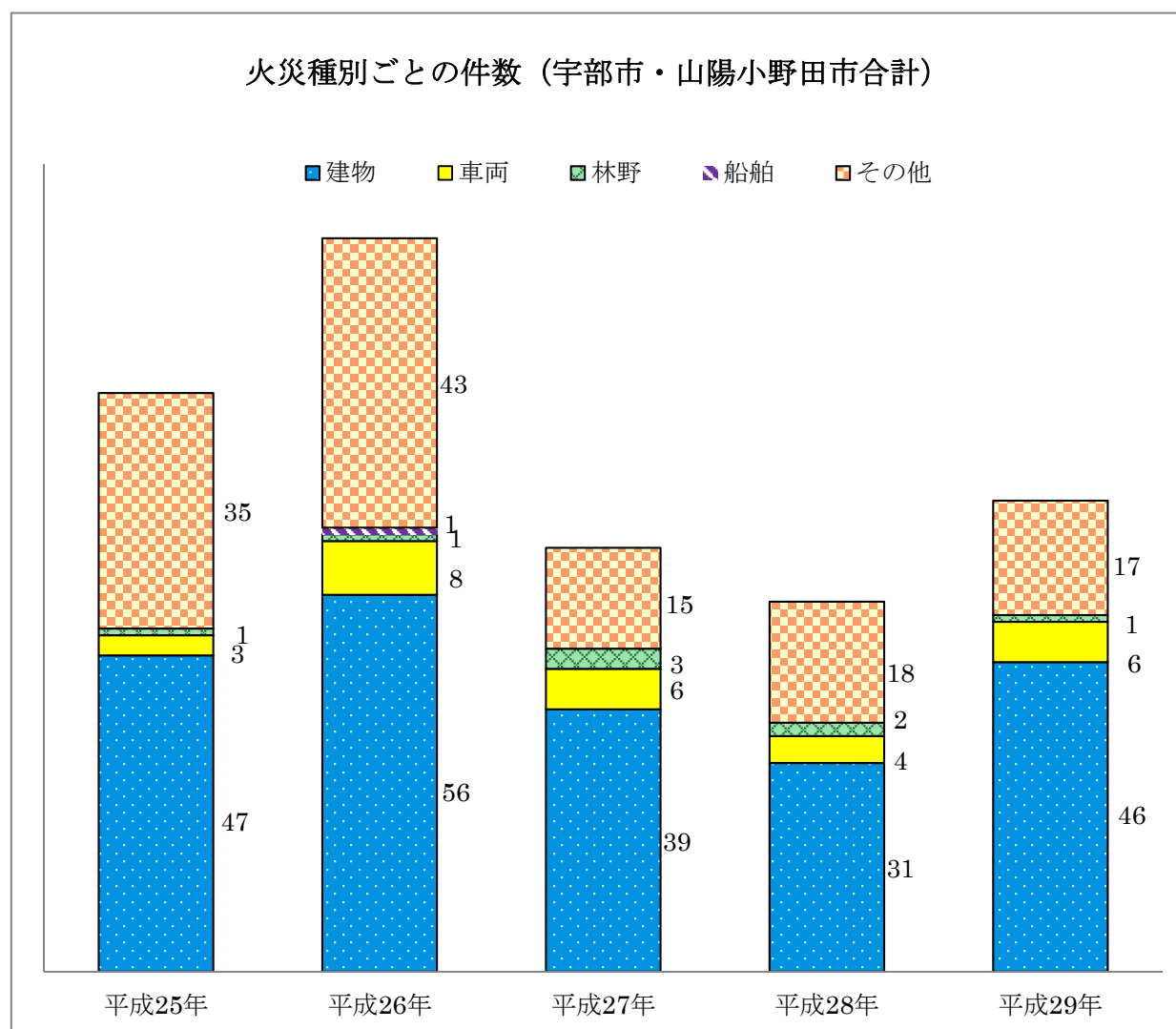
年別	件数 (件)		損害額 (千円)		死傷者 (人)			
	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市		山陽小野田市	
					死者	負傷者	死者	負傷者
平成25年	56	30	154,324	30,471	3	9	1	4
平成26年	76	33	86,125	196,669		12	2	8
平成27年	46	17	150,652	122,941	3	11		3
平成28年	42	13	86,606	56,626	3	8		2
平成29年	51	19	217,240	20,395	1	11	1	3



(9) 過去5年間の火災種別件数

[単位：件]

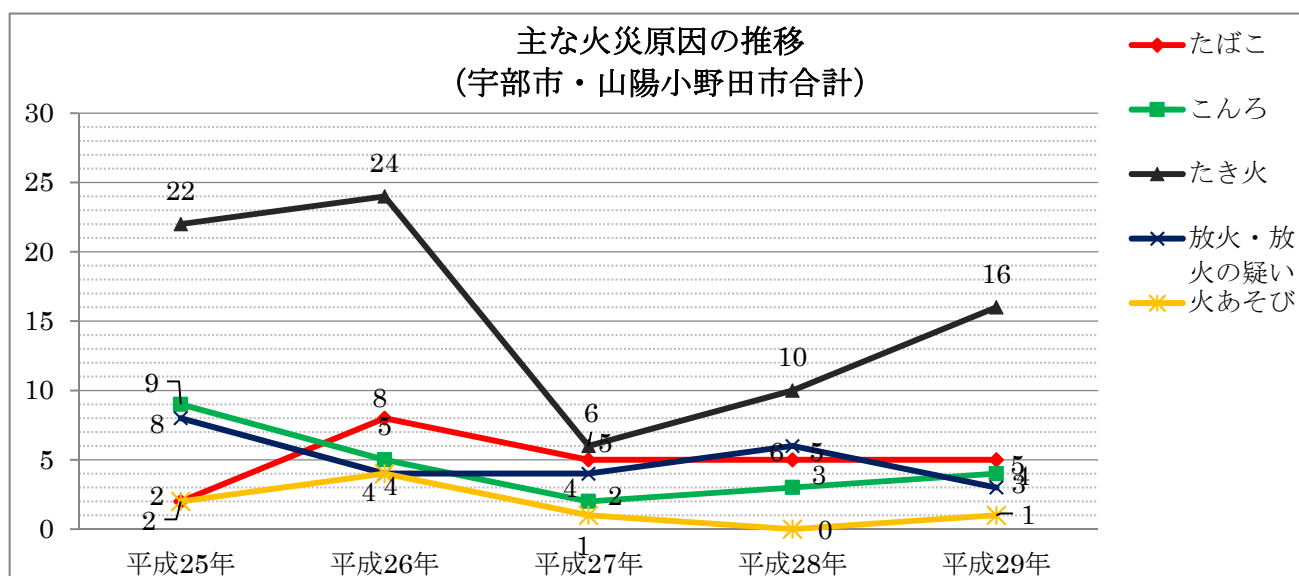
年別		種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	計	合 計
平成25年	宇 部 市		31	1	1			23	56	86
	山陽小野田市		16	2				12	30	
平成26年	宇 部 市		34	7	1		1	33	76	109
	山陽小野田市		22	1				10	33	
平成27年	宇 部 市		29	4	3			10	46	63
	山陽小野田市		10	2				5	17	
平成28年	宇 部 市		24	4	1			13	42	55
	山陽小野田市		7		1			5	13	
平成29年	宇 部 市		32	5	1			13	51	70
	山陽小野田市		14	1				4	19	



(10) 過去5年間の火災原因別件数

[単位：件]

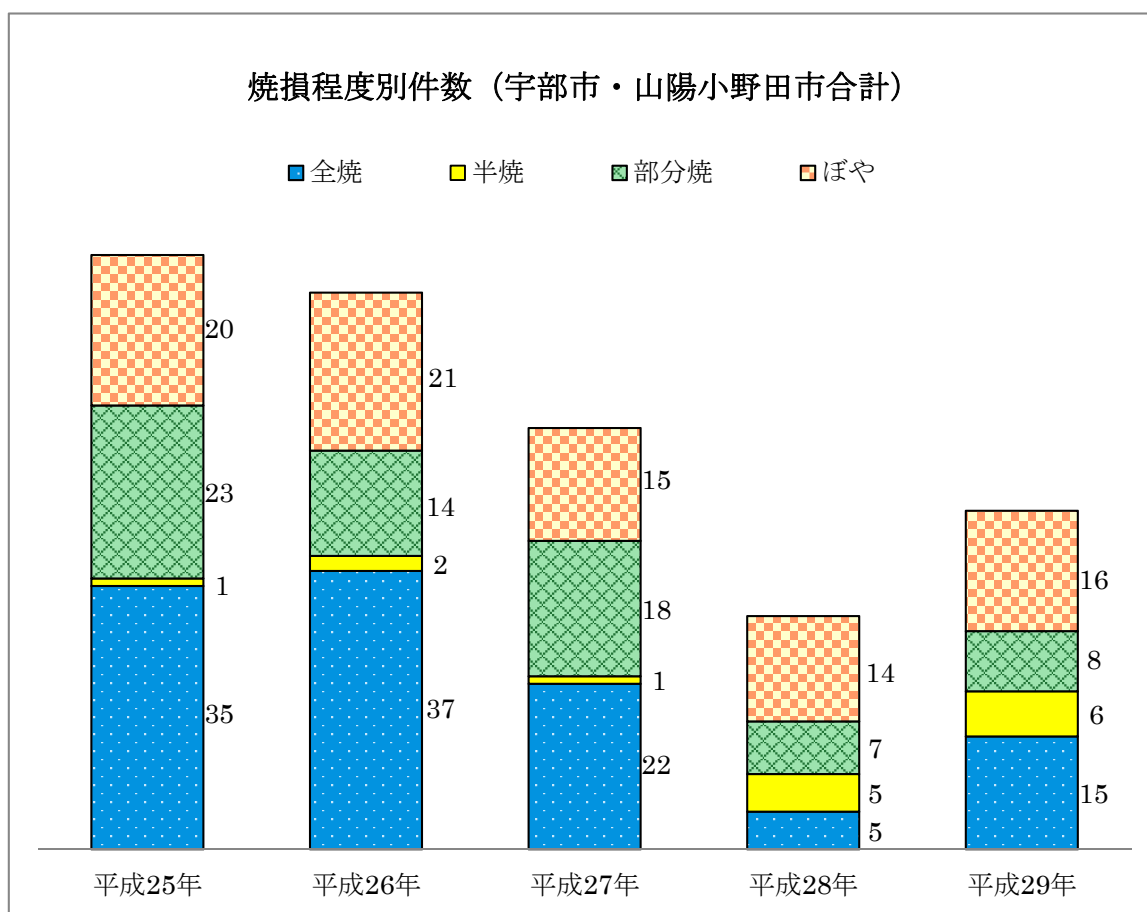
年別 原因別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
たばこ	2	8	5	5	5
こんろ	9	5	2	3	4
風呂かまど		1	2		1
炉					1
焼却炉					2
ストーブ	2	9	1	1	2
こたつ					1
煙突・煙道					3
排気管					2
電気機器	1	3	1	1	2
電気装置					1
電灯等の配線	1	1			
配線器具	2	1	2	1	1
火あそび	2	4	1		1
ライター等	1	3	2	2	
たき火	22	24	6	10	16
溶接機・切断機		1	3		1
灯火	2	1	2	1	
取灰					1
放火	3	2	1	4	2
放火の疑い	5	2	3	2	1
その他	17	32	13	12	11
不明・調査中	17	12	19	13	12
合計	86	109	63	55	70



(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）

[単位：件]

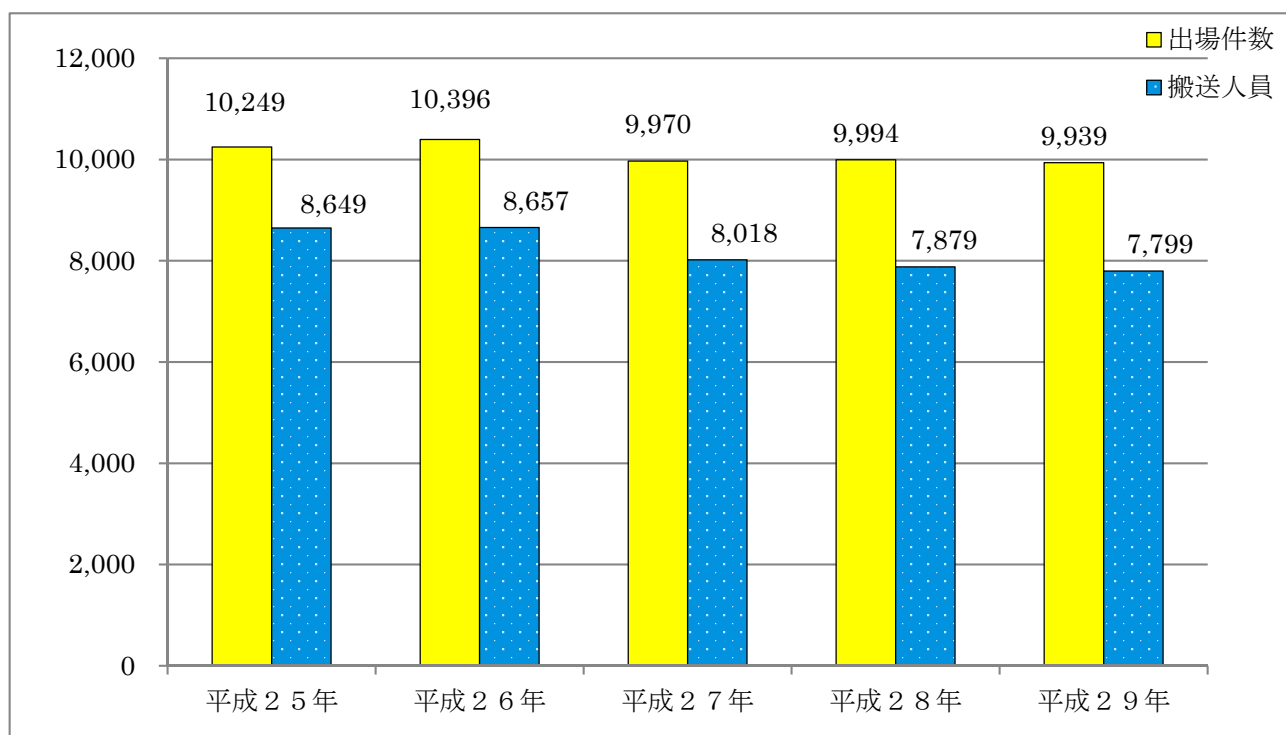
年別		焼損別				計	合計
		全焼	半焼	部分焼	ぼや		
平成25年	宇部市	21	1	19	15	56	79
	山陽小野田市	14		4	5	23	
平成26年	宇部市	22	1	11	13	47	74
	山陽小野田市	15	1	3	8	27	
平成27年	宇部市	14	1	10	14	39	56
	山陽小野田市	8		8	1	17	
平成28年	宇部市	4	4	5	12	25	31
	山陽小野田市	1	1	2	2	6	
平成29年	宇部市	12	4	6	10	32	45
	山陽小野田市	3	2	2	6	13	



6 救急

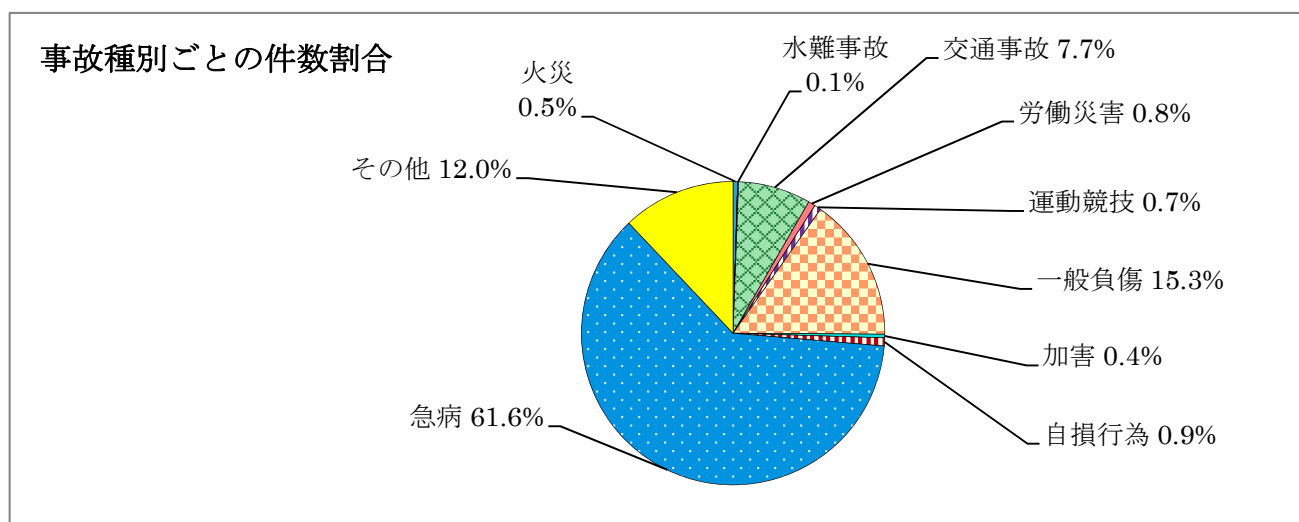
(1) 過去5年間の救急状況

年別	区分	出場件数	搬送人員	1日平均 出場件数	1日平均 搬送人員
		(件)	(人)	(件)	(人)
平成25年	宇部市	7,269	6,009	19.9	16.5
	山陽小野田市	2,980	2,640	8.2	7.2
	合計	10,249	8,649	28.1	23.7
平成26年	宇部市	7,328	5,897	20.1	16.2
	山陽小野田市	3,068	2,760	8.4	7.6
	合計	10,396	8,657	28.5	23.7
平成27年	宇部市	6,947	5,475	19.0	15.0
	山陽小野田市	3,023	2,543	8.3	7.0
	合計	9,970	8,018	27.3	22.0
平成28年	宇部市	7,021	5,464	19.2	14.9
	山陽小野田市	2,973	2,415	8.1	6.6
	合計	9,994	7,879	27.3	21.5
平成29年	宇部市	6,951	5,398	19.0	14.8
	山陽小野田市	2,988	2,401	8.2	6.6
	合計	9,939	7,799	27.2	21.4



(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況

事故種別		市別		
		宇 部 市	山陽小野田市	合 計
火 災	出場件数 (件)	35	14	49
	搬送人員 (人)	8	3	11
自然災害	出場件数			
	搬送人員			
水難事故	出場件数	4	4	8
	搬送人員	2	2	4
交通事故	出場件数	565	205	770
	搬送人員	407	164	571
労働災害	出場件数	44	31	75
	搬送人員	41	27	68
運動競技	出場件数	45	24	69
	搬送人員	42	19	61
一般負傷	出場件数	1,077	447	1,524
	搬送人員	852	359	1,211
加 害	出場件数	33	5	38
	搬送人員	19	5	24
自損行為	出場件数	59	26	85
	搬送人員	36	11	47
急 病	出場件数	4,310	1,813	6,123
	搬送人員	3,420	1,464	4,884
そ の 他	出場件数	779	419	1,198
	搬送人員	571	347	918
合 計	出場件数	6,951	2,988	9,939
	搬送人員	5,398	2,401	7,799

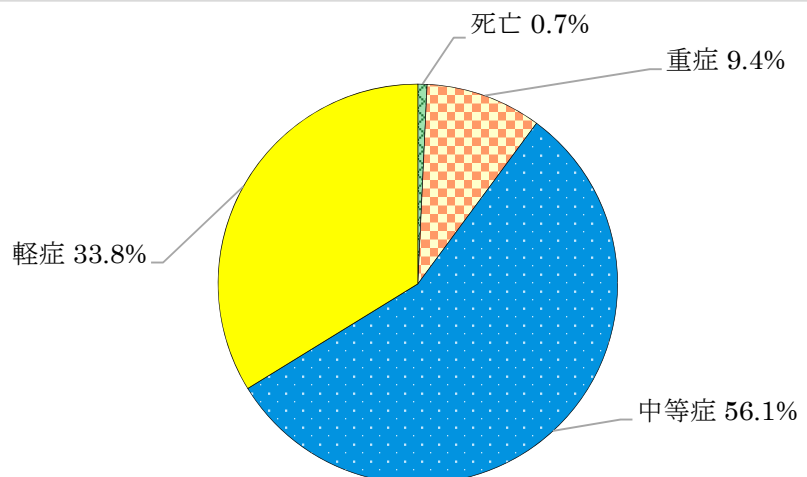


(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員

[単位：人]

事故種別		傷病程度					合 計
		死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	
火 災	宇 部 市		2	4	2		8
	山陽小野田市		1	2			3
自然災害	宇 部 市						
	山陽小野田市						
水難事故	宇 部 市	1			1		2
	山陽小野田市		1		1		2
交通事故	宇 部 市	1	15	105	286		407
	山陽小野田市	3	7	46	108		164
労働災害	宇 部 市		3	23	15		41
	山陽小野田市	1	3	13	10		27
運動競技	宇 部 市			12	30		42
	山陽小野田市			6	13		19
一般負傷	宇 部 市	5	95	412	340		852
	山陽小野田市	1	39	198	121		359
加 害	宇 部 市			5	14		19
	山陽小野田市			1	4		5
自損行為	宇 部 市	2	7	18	9		36
	山陽小野田市	1	1	8	1		11
急 病	宇 部 市	25	261	1,995	1,139		3,420
	山陽小野田市	18	93	836	517		1,464
そ の 他	宇 部 市		138	421	12		571
	山陽小野田市		66	270	11		347
合 計	宇 部 市	34	521	2,995	1,848		5,398
	山陽小野田市	24	211	1,380	786		2,401
	合 計	58	732	4,375	2,634		7,799

傷病程度別搬送人員割合



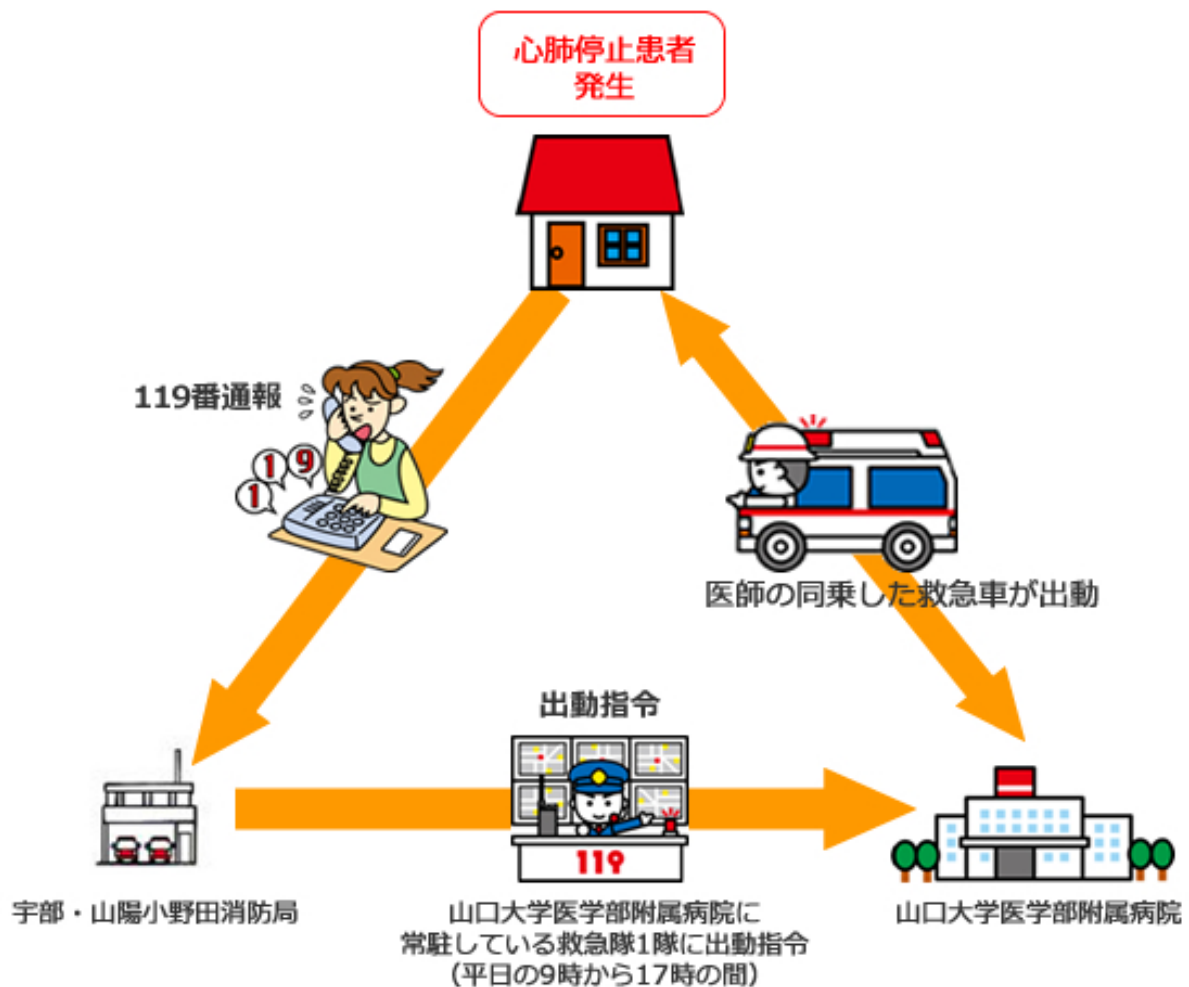
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー） 出場件数及び搬送人員

事故種別 区分	計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送
出場件数 (件)	133				8	2		5		2	36	1	79
搬送人員 (人)	54				8	2		5		2	36	1	

救急車医師同乗システム（ドクターカー）

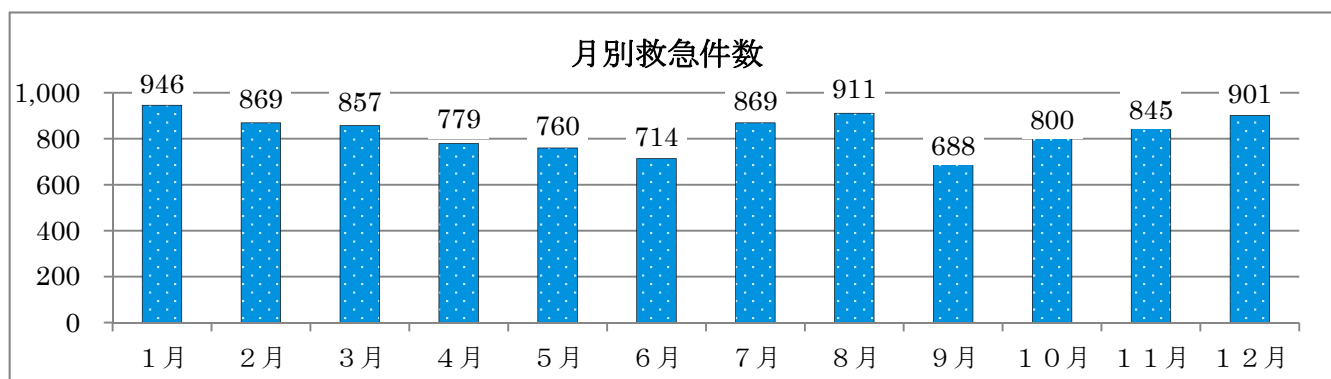
システム概要

救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）の内容



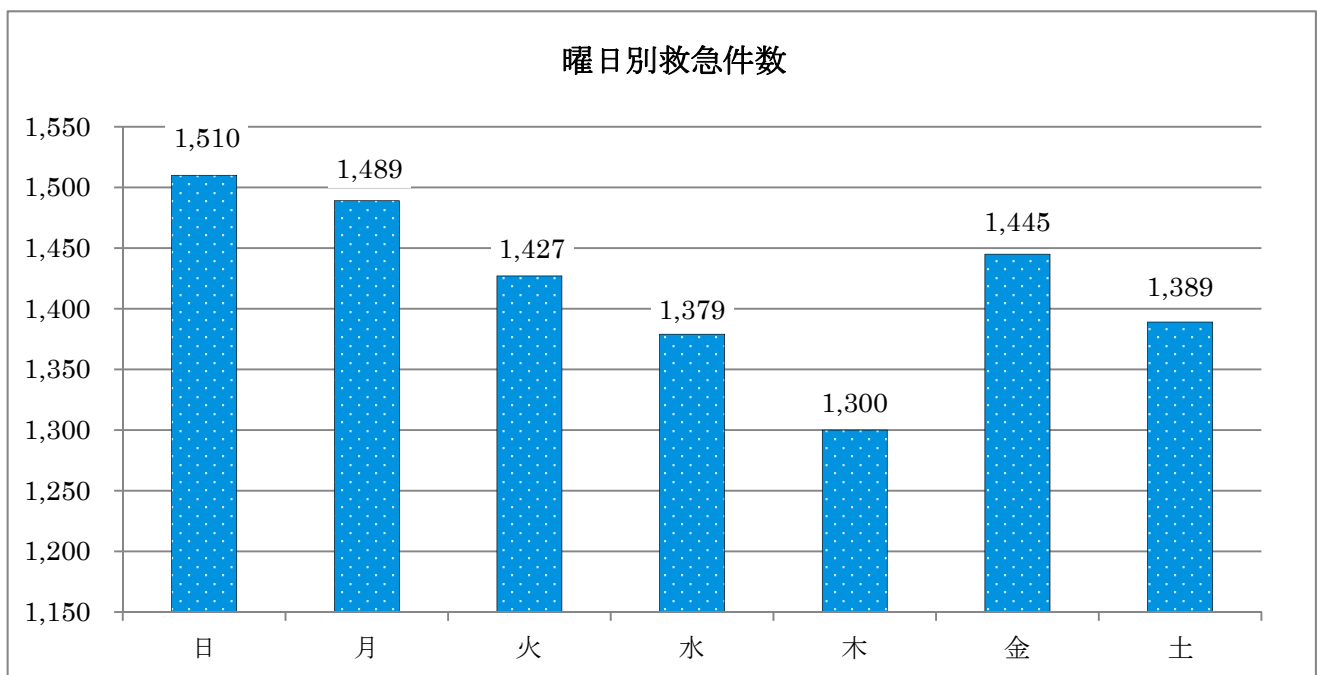
(5) 事故種別・月別出場件数及び搬送人員

月別	事故種別	計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
			害	害	事	事	災	競	負		行		他
					故	故	害	技	傷		為		
1月	件数(件)	946	4		2	63	7	5	165	5	5	588	102
	人員(人)	694	2			49	7	3	117	2	4	440	70
2月	件数	869	5		1	64	4	5	127	2	8	536	117
	人員	668				49	2	5	102	2	2	415	91
3月	件数	857	7			72	5	3	129	3	9	516	113
	人員	642	1			56	5	3	95	2	4	393	83
4月	件数	779	7			80	9	7	106	5	5	468	92
	人員	621	2			64	9	7	89	3	1	371	75
5月	件数	760	2		2	43	9	5	125	4	10	478	82
	人員	608	1		1	27	7	3	106	4	5	388	66
6月	件数	714	3			63	6	5	110	6	13	421	87
	人員	582				41	6	6	88	3	11	359	68
7月	件数	869	1			56	2	11	138	5	2	536	118
	人員	718				46	2	10	117	2	1	448	92
8月	件数	911	3		1	72	6	6	129	3	3	595	93
	人員	719	1		1	54	4	5	100	2	3	475	74
9月	件数	688	3		1	50	6	13	96	3	8	414	94
	人員	539			1	32	5	10	67	2	4	343	75
10月	件数	800	1			75	4	1	118		9	501	91
	人員	638				53	4	1	100		7	411	62
11月	件数	845	5			58	7	2	126	2	7	519	119
	人員	676	1			47	7	2	101	2	2	423	91
12月	件数	901	8		1	74	10	6	155		6	551	90
	人員	694	3		1	53	10	6	129		3	418	71
合計	件数	9,939	49		8	770	75	69	1,524	38	85	6,123	1,198
	人員	7,799	11		4	571	68	61	1,211	24	47	4,884	918



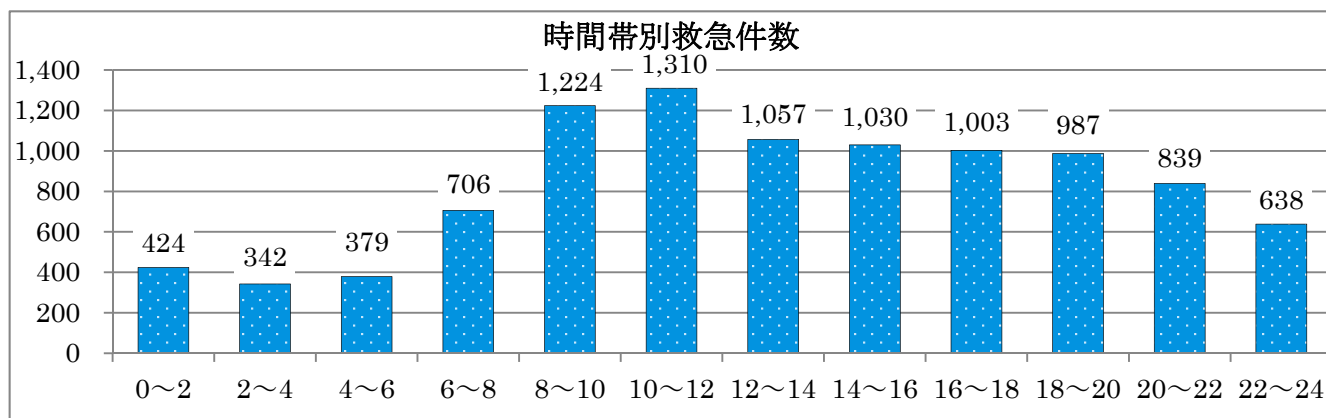
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員

事故種別 曜日別		計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
日	件数(件)	1,510	8		1	91	4	25	262	13	7	990	109
	人員(人)	1,153	1		1	71	4	22	208	9	4	757	76
月	件数	1,489	7		1	112	13	5	204	7	13	920	207
	人員	1,170	3			73	10	5	161	4	8	746	160
火	件数	1,427	7		1	97	11	9	205	4	14	875	204
	人員	1,114	2			70	8	10	162	3	7	688	164
水	件数	1,379	6		2	113	18	5	204	5	17	821	188
	人員	1,102			1	88	19	4	175	3	6	665	141
木	件数	1,300	3		1	111	10	5	203	4	9	776	178
	人員	1,015			1	77	9	3	157	2	8	626	132
金	件数	1,445	15		1	130	10	7	216	1	14	865	186
	人員	1,140	5			100	9	6	174		11	696	139
土	件数	1,389	3		1	116	9	13	230	4	11	876	126
	人員	1,105			1	92	9	11	174	3	3	706	106
合 計	件数	9,939	49		8	770	75	69	1,524	38	85	6,123	1,198
	人員	7,799	11		4	571	68	61	1,211	24	47	4,884	918



(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員

事故種別 時間帯別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0～	件数(件)	424	4		1	16	2		47	2	6	318	28
	人員(人)	301	2			5	2		30	1	4	241	16
2～	件数	342				7			42	7	1	265	20
	人員	259				6			33	7	1	197	15
4～	件数	379	2			14	2		56	2	3	290	10
	人員	281	1			10	2		41	1	1	217	8
6～	件数	706	3		1	75	1		113		6	489	18
	人員	551	1			59	1		92		3	382	13
8～	件数	1,224			1	86	15	3	220	3	6	736	154
	人員	1,045			1	73	12	2	199	1	1	648	108
10～	件数	1,310	7		1	91	17	15	187	2	10	705	275
	人員	1,066	2		1	62	16	11	165	1	3	582	223
12～	件数	1,057	6			67	8	11	162	2	8	590	203
	人員	833				49	7	10	133	2	7	464	161
14～	件数	1,030	11		1	104	19	19	151	1	12	524	188
	人員	831	1		1	88	18	20	126		3	434	140
16～	件数	1,003	5		1	122	6	12	153	2	10	555	137
	人員	810			1	87	5	10	124		7	457	119
18～	件数	987	3		1	110	1	5	150	4	8	625	80
	人員	739	2			77	1	4	111	2	6	477	59
20～	件数	839	6			46	2	2	143	5	9	586	40
	人員	634	2			32	2	2	99	3	8	455	31
22～	件数	638	2		1	32	2	2	100	8	6	440	45
	人員	449				23	2	2	58	6	3	330	25
合計	件数	9,939	49		8	770	75	69	1,524	38	85	6,123	1,198
	人員	7,799	11		4	571	68	61	1,211	24	47	4,884	918

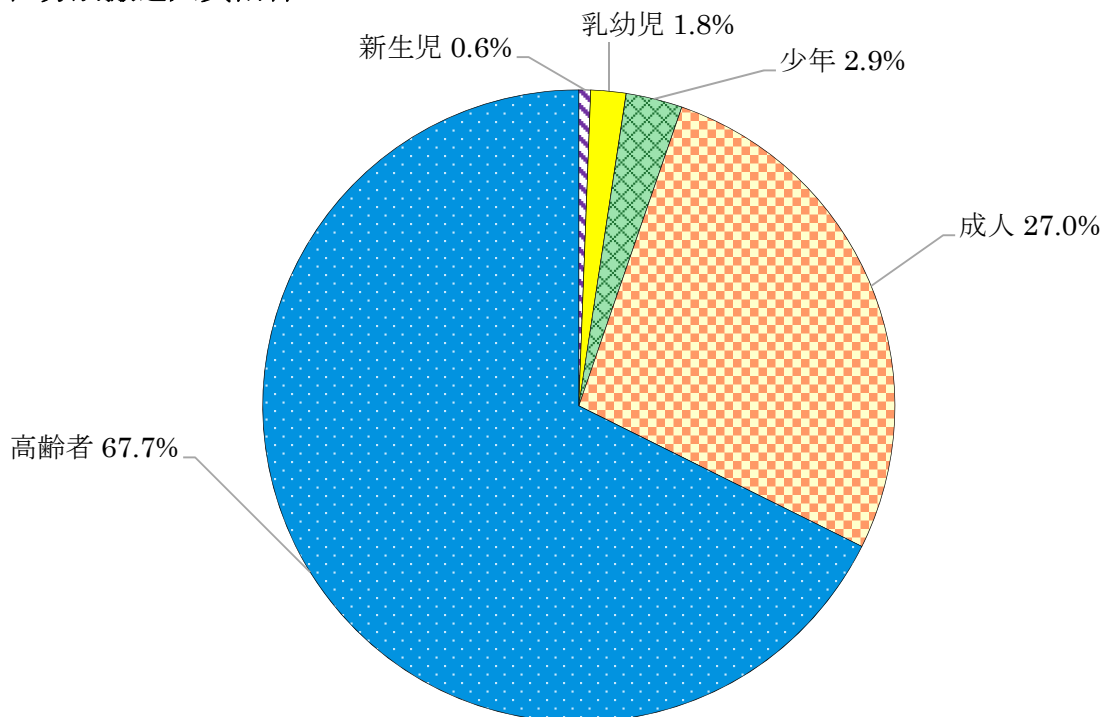


(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員

[単位：人]

事故種別 年齢区分	計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
新生児 (生後28日未満)	47										1	46
乳幼児 (7歳未満)	140				6			36			84	14
少年 (7歳～17歳)	225				65		36	31			85	8
成人 (18歳～64歳)	2,110	8		2	306	51	24	170	22	34	1,248	245
高齢者 (65歳以上)	5,277	3		2	194	17	1	974	2	13	3,466	605
合計	7,799	11		4	571	68	61	1,211	24	47	4,884	918
高齢者 割合 (%)	68	27		50	34	25	2	80	8	28	71	66

年齢区分別搬送人員割合



7 救助

市別 種別		宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
		出 動 (件)	活 動 (件)	救 助 人 員 (人)	出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員
火 災	建 物	9	9	5				9	9	5
	建物以外									
交 通 事 故		29	15	15	26	8	9	55	23	24
水 難 事 故		4	4	4	4	3	3	8	7	7
風 水 害 自 然 災 害										
機 械 による事故		3	2	2				3	2	2
建物等による事故		5	4	3	2	2	3	7	6	6
ガス・酸欠事故					1	1	1	1	1	1
破 裂 事 故										
そ の 他 事 故		15	9	8	3	3	6	18	12	14
合 計		65	43	37	36	17	22	101	60	59

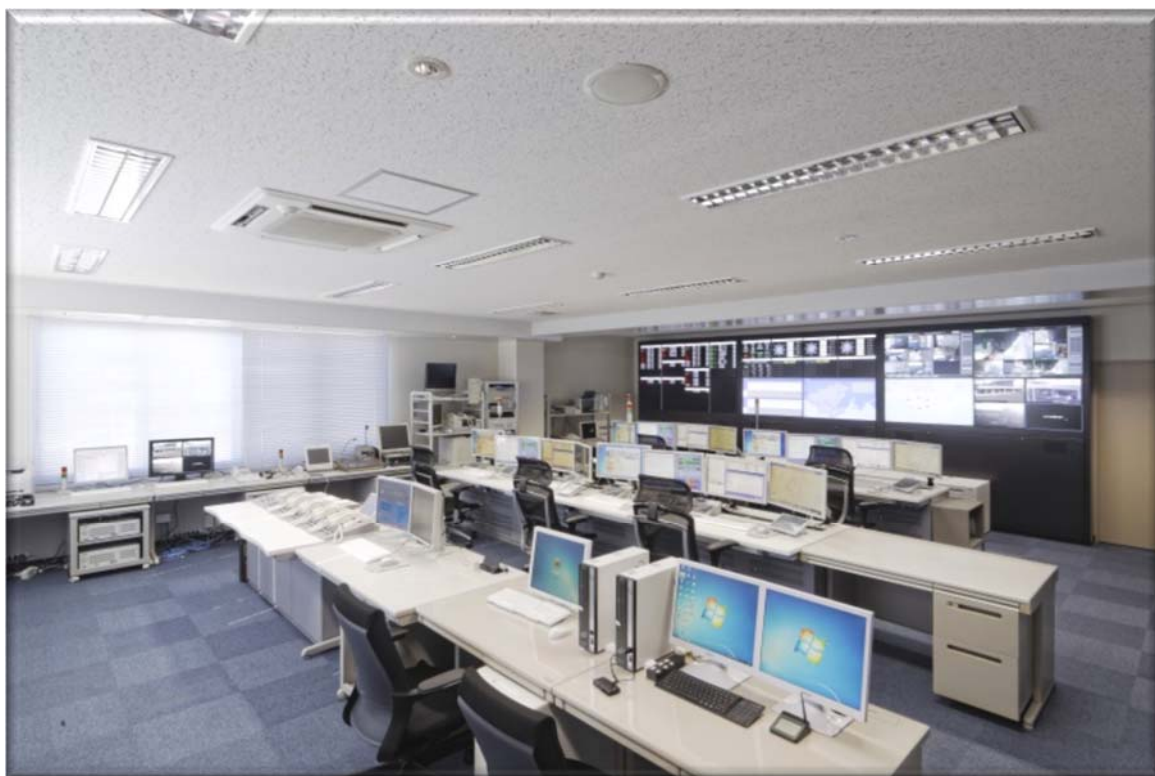
8 火災以外の出動

出動種別		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
風水害等の災害	回数(回)				2									2
	人員(人)				7									7
火災原因調査	回数	7	6	9	12	4	10	1	7	4	1	3	6	70
	人員	32	30	43	60	33	52	5	36	19	5	11	30	356
特別警戒	回数													
	人員													
搜索	回数													
	人員													
誤報等	回数	1					1	1	2	2		1	3	11
	人員	34					26	3	20	31		12	29	155
救急補助	回数	120	95	86	109	65	56	82	86	73	100	95	101	1,068
	人員	394	302	270	332	211	170	249	253	217	298	292	312	3,300
その他	回数	15	13	10	13	17	23	13	20	20	15	14	16	189
	人員	95	67	80	66	58	110	77	90	64	78	82	72	939
合計	回数	143	114	105	136	86	90	97	115	99	116	113	126	1,340
	人員	555	399	393	465	302	358	334	399	331	381	397	443	4,757

9 救急講習（平成29年度中）

区分 受講者別	宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
	講習 件数 (件)	受講 者数 (人)	指導 者数 (人)	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数
普通救命 講習Ⅰ	84	1,588	205	41	743	104	125	2,331	309
普通救命 講習Ⅱ	3	66	7	1	20	2	4	86	9
上級救命 講習				4	20	10	4	20	10
応急手当 普及員講習 Ⅰ	1	9	1				1	9	1
応急手当 指導員講習 Ⅰ	4	6	16	2	4	12	6	10	28
普通救命 講習Ⅰ (普及員)									
救命入門 コース	7	130	13	10	223	44	17	353	57
その他講習	55	4,755	117	18	795	31	73	5,550	148
合 計	154	6,554	359	76	1,805	203	230	8,359	562

情報指令



高機能消防指令センター

電話による119番通報のほか、メールやFAXを利用した通報にも対応可能で、通報受付から出動指示、現場到着までを迅速に行うことができます。また、高機能消防指令センターと出動部隊が各種情報を共有することで、的確な現場活動を行うことができます。



消防救急デジタル無線設備

消防救急デジタル無線設備の整備により、無線の秘匿性の向上、不感地帯の解消及びデータ送信を利用したシステムの活用等が可能となりました。

1 消防通信施設

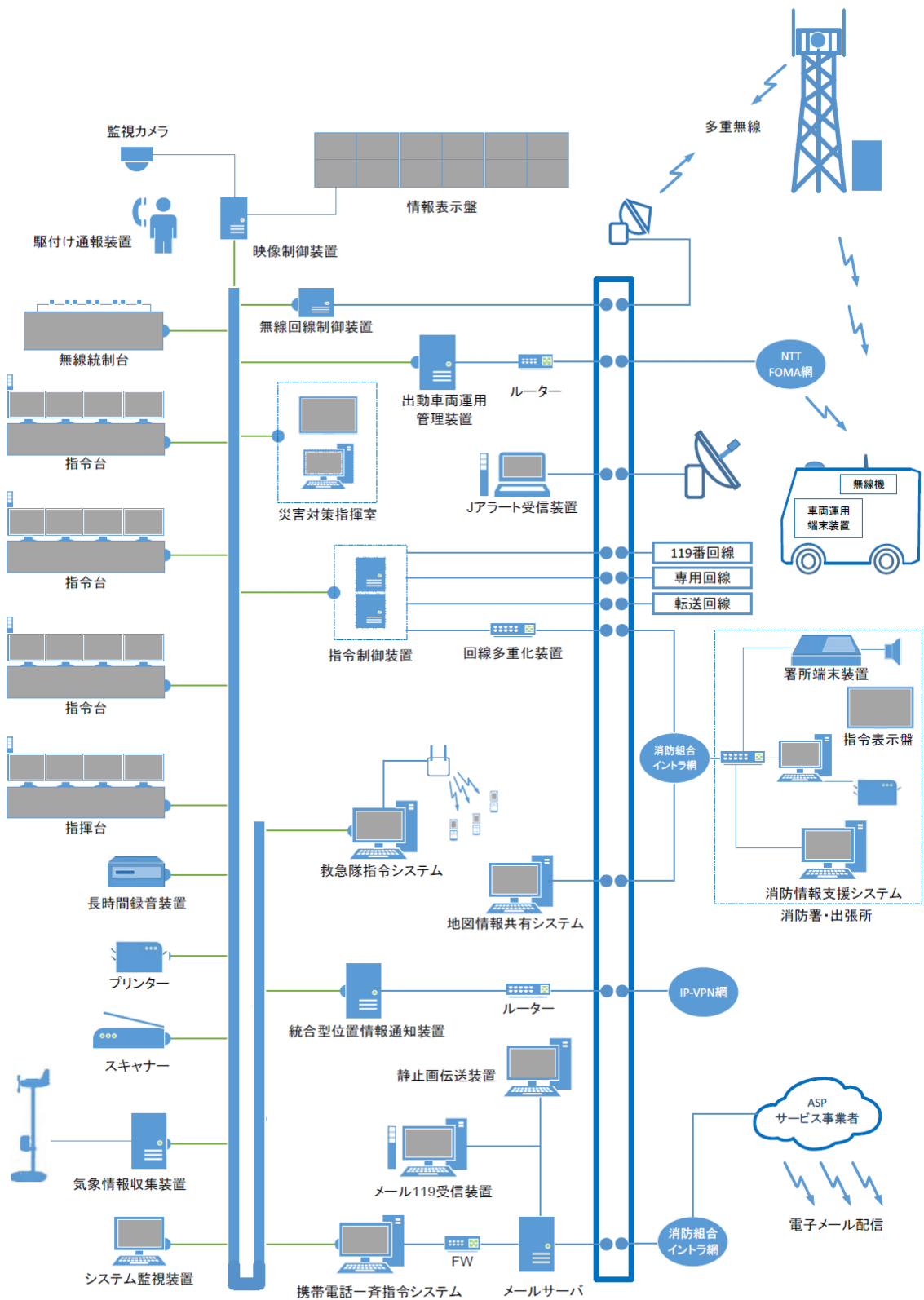
(1) 消防指令センター

機 器 名	数 量	設 置 年 月 日
高機能消防指令センター（Ⅱ型） 1. 指令装置 2. 指揮台 3. 表示盤 4. 無線統制台 5. 指令伝送装置 6. 気象情報収集装置 7. 災害状況等自動案内装置 8. 順次指令装置 9. 音声合成装置 10. 出動車両運用管理装置 11. システム監視装置 12. 地図検索装置 13. 統合型位置情報通知装置 14. 長時間録音装置 15. 自動出動指定装置 16. 駆け込み通報装置 17. 静止画像伝送装置	一式	平成 26 年 3 月更新
メール 1 1 9	一式	平成 26 年 3 月更新
F A X 1 1 9	一式	平成 26 年 3 月更新
動画像配信システム	一式	平成 28 年 9 月
山口県広域災害救急医療情報システム	一式	平成 26 年 8 月更新
山口県総合防災情報ネットワーク	一式	平成 20 年 3 月
宇部市防災用移動系無線(デジタル MCA 無線)システム	一式	平成 20 年 4 月

(2) 電話回線

回線 所属	119 回線 (IP含む)	携帯 119 着信	指令 回線	携帯 119 転送	加入 電話	FAX	緊急 通報	衛星 通信	高速 山陽道
消 防 局 中 央 署	5	2		2	8	4	2	1	1
東 部			1		1	1			
西 署			1		2	1			
北 部			1		2	1			
楠			1		1	1			
小野田署			1		3	1			
山 陽 署			1		2	1			
埴 生			1		1	1			
合 計	5	2	7	2	20	11	2	1	1

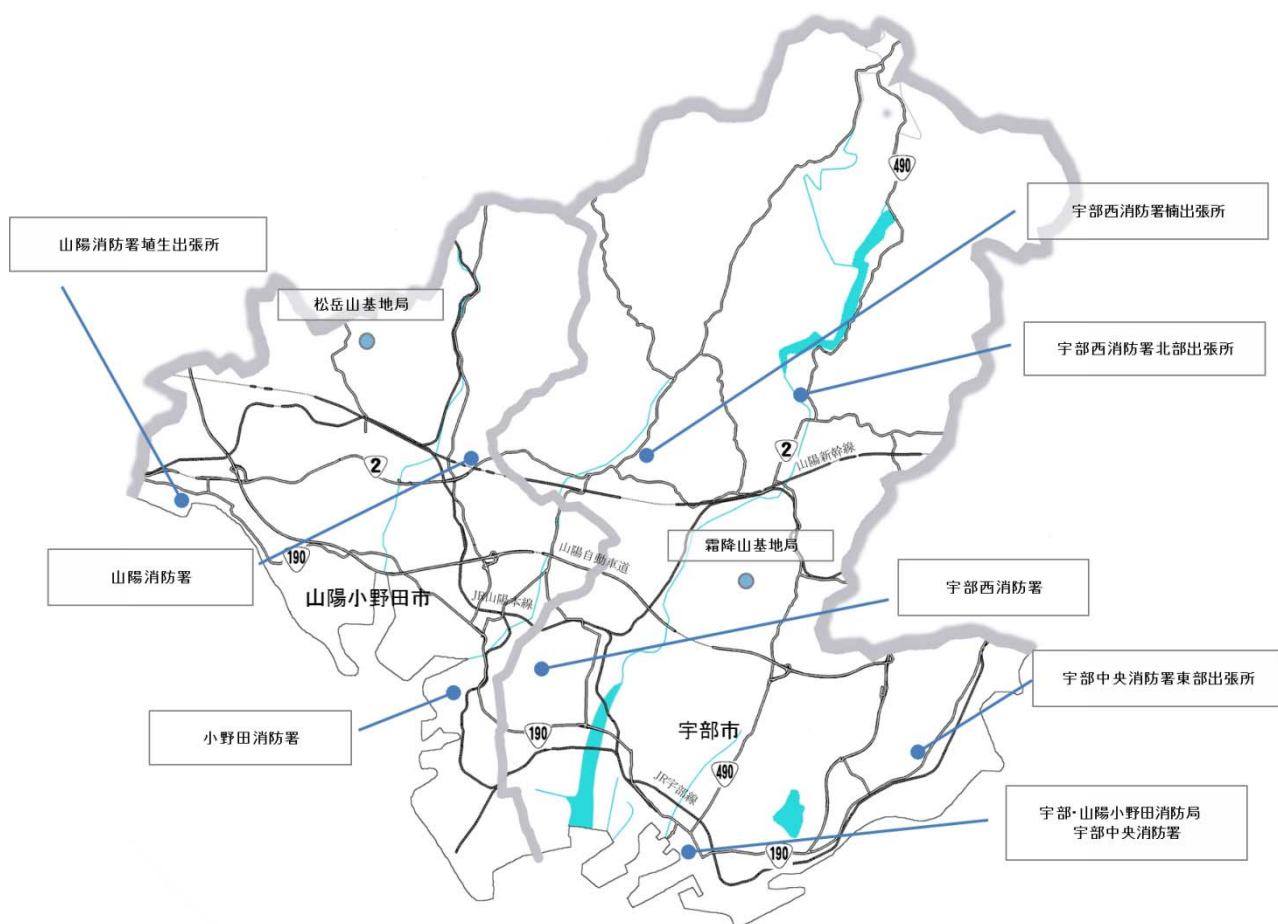
(3) システム構成図



(4) 自家用発電機

所 属	出 力	設置年月日
消 防 局	105KVA	平成 19 年 2 月
東 部 出 張 所	9.9KVA	平成 24 年 1 月
宇 部 西 消 防 署	9.9KVA	平成 22 年 6 月
北 部 出 張 所	9.5KVA	平成 25 年 12 月
楠 出 張 所	9.9KVA	平成 30 年 2 月
小 野 田 消 防 署	100KVA	平成 11 年 1 月
山 陽 消 防 署	35KVA	平成 25 年 3 月
埴 生 出 張 所	9.5KVA	平成 25 年 12 月
霜 降 山 基 地 局	15KVA	平成 25 年 12 月
松 岳 山 基 地 局	10KVA	平成 25 年 12 月

(5) 無線局

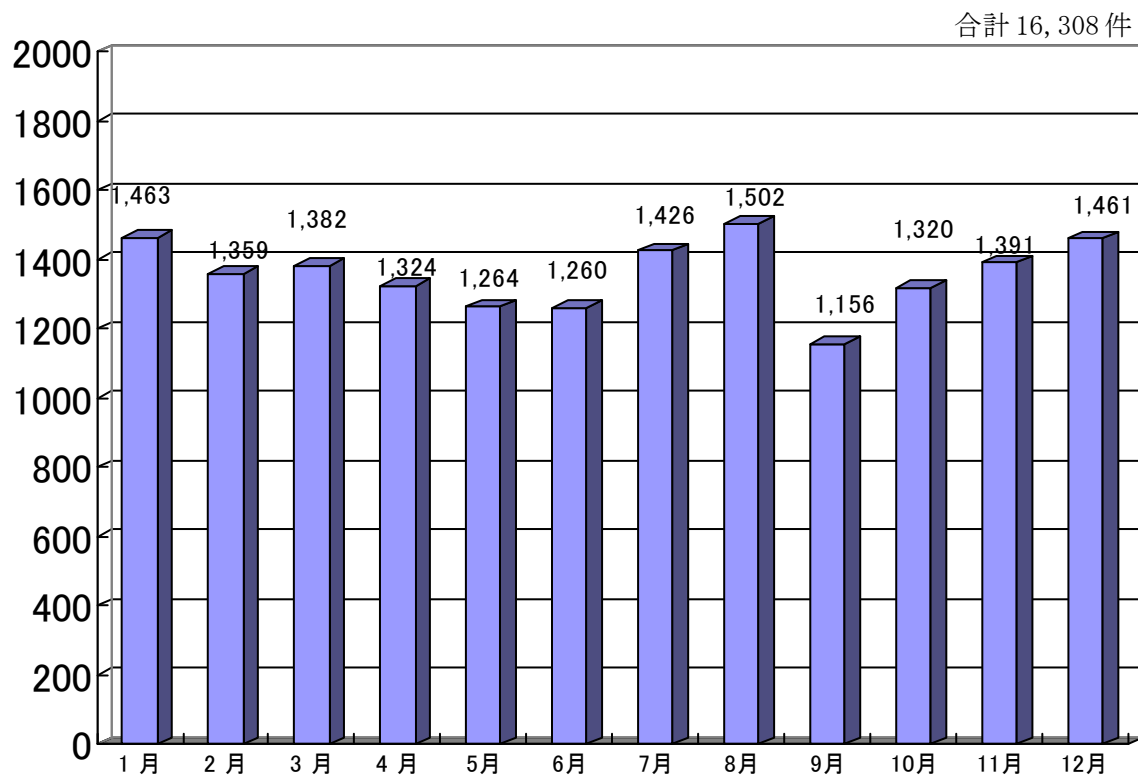


[単位：局]

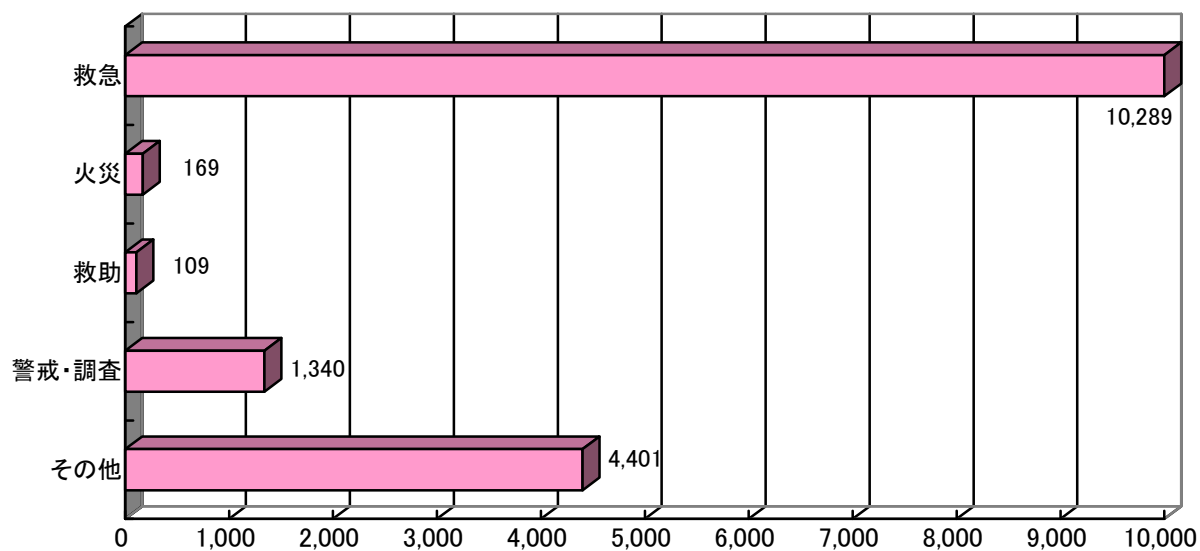
		消防局	霜降山	松岳山	中央署	東部	西署	北部	楠	小野田署	山陽署	埴生	合計
基	地 局	1	1	1									3
	(固定局)	(1)	(1)	(1)							(1)		(4)
移 動 局	卓上型					1	1	1	1	1	1	1	7
	車載型	8			18	4	8	4	4	18	8	3	75
	携帯型	7			16	7	12	7	7	12	12	5	85
	可搬型				1					1			2

2 119回線着信件数

月別着信件数



種別毎着信件数(同報含む)



消 防 団



宇部市消防団 消防防災サポーターの運用開始

平成29年1月1日に大規模災害時に後方支援活動を行う消防防災サポーターの運用を開始しました。

市内の大学に通う学生72人が安心・安全なまちづくりに尽力していきます。

山陽小野田市消防団 小型動力ポンプの配備

平成29年度は、厚狭分団、小野田分団、須恵分団、赤崎分団及び本山分団に小型動力ポンプ5台を配備しました。

消防資機材の充実強化を図り、市民の安心・安全確保に全力を尽くします。



宇部市消防団 消防操法大会



山陽小野田市消防団 消防操法大会

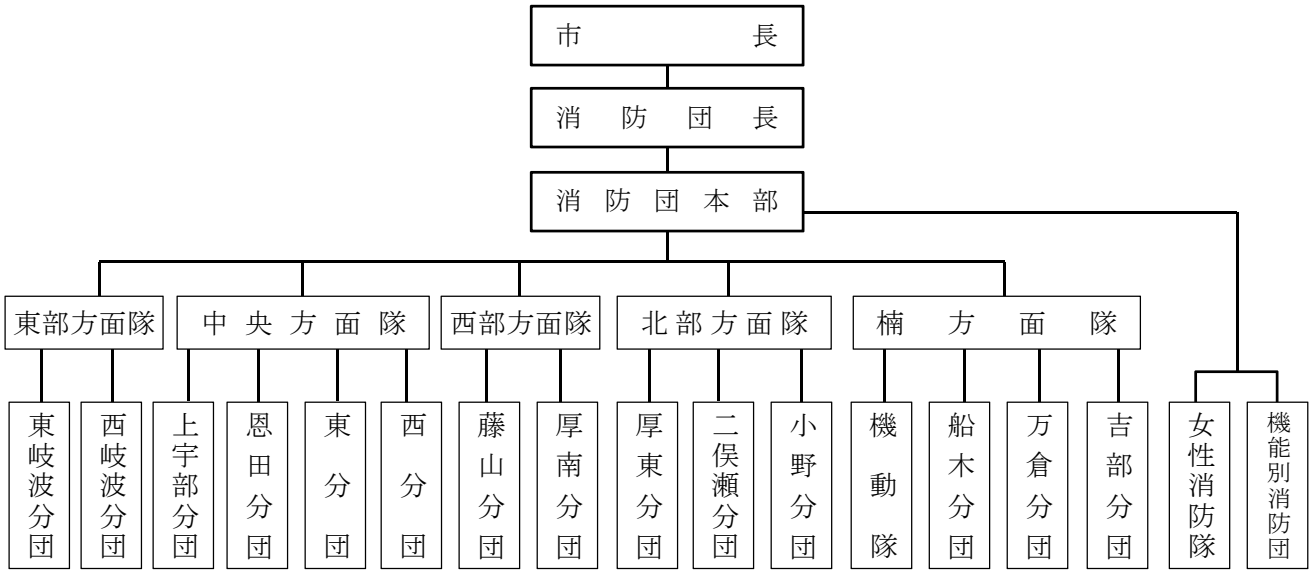


消防操法大会は山口県大会の予選を兼ねて毎年8月に開催します。宇部市は応急操法の部及び基本操法の部、また、女性消防隊が軽可搬ポンプ基本操法の部に出場しました。山陽小野田市は応急操法の部及び女性消防団員が軽可搬ポンプ基本操法の部に出場し、安全・確実・迅速をモットーに消防技術の練磨に励んでいます。

宇部市及び山陽小野田市ともに、山口県大会において毎年上位入賞するとともに、消防団をPRし“防火防災”を図っています。

1 消防団組織図

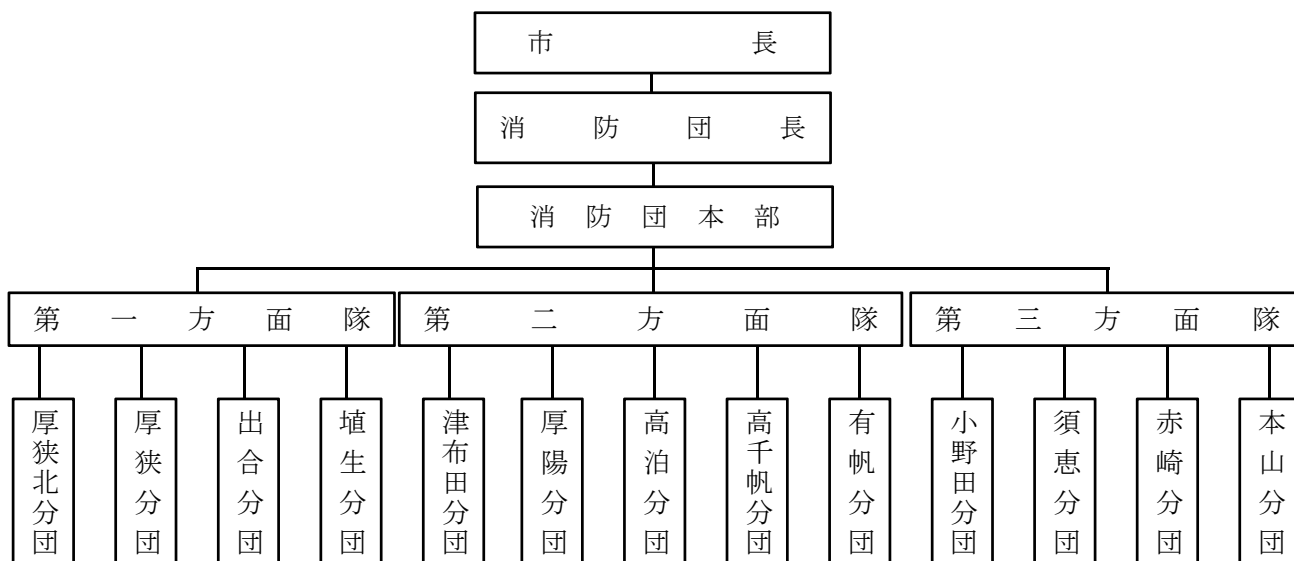
(1) 宇部市消防団



[単位：人]

消防団員定数表	所 属	消防団本部		東 部 方面隊		中 央 方面隊				西 部 方面隊		北 部 方面隊			楠 方面隊				合計	
		機能別消防団	女性消防隊	東岐波分団	西岐波分団	上宇部分団	恩田分団	東分団	西分団	藤山分団	厚南分団	厚東分団	二俣瀬分団	小野分団	機動隊	船木分団	万倉分団	吉部分団		
定数	《定数》	100																	820	
実員数	平成30年4月1日現在	72	13	35	55	70	30	25	28	29	29	77	31	32	62	19	43	25	38	713

(2) 山陽小野田市消防団



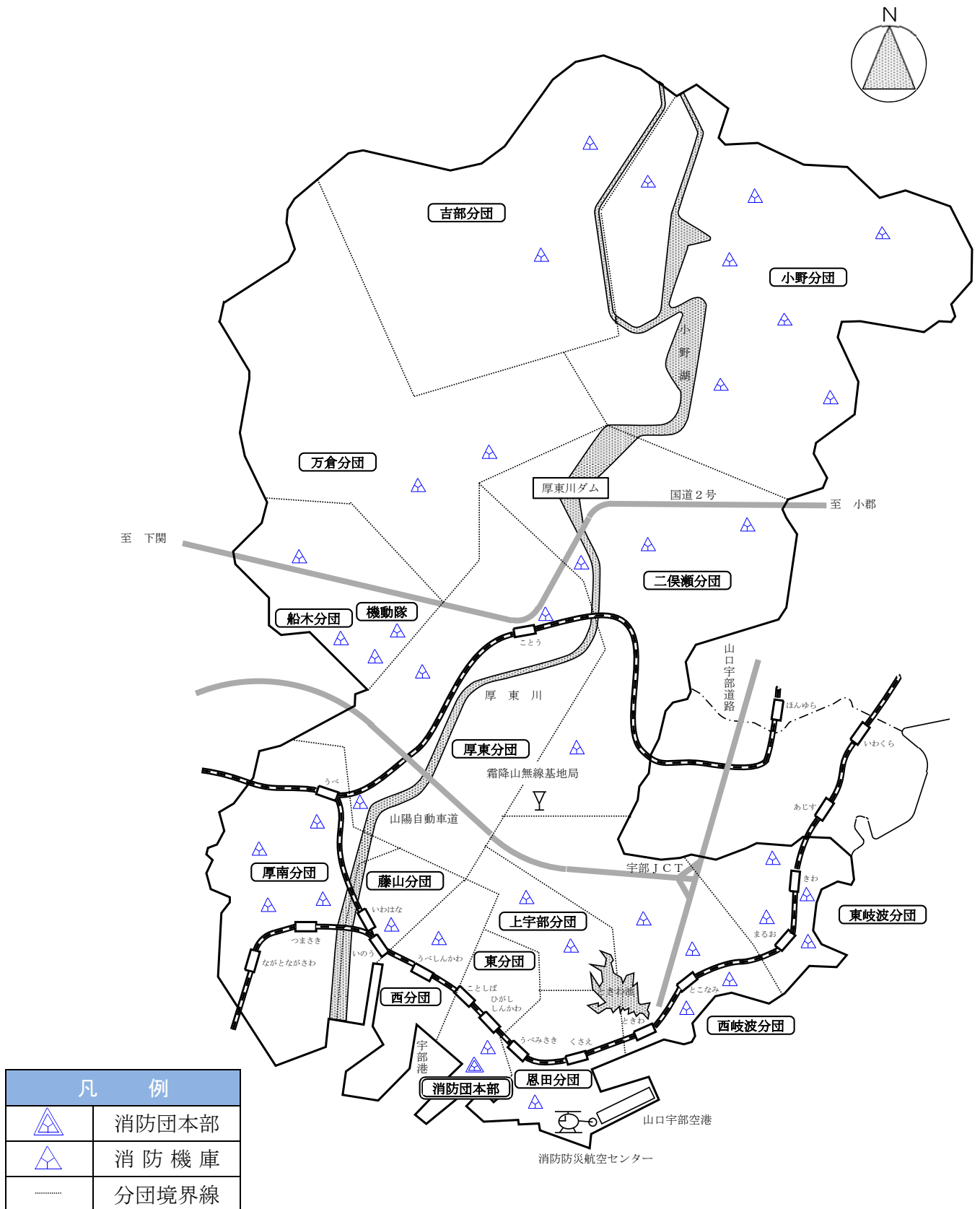
[単位：人]

消防団員	職階級	所 属 消防団本部	第一方面隊				第二方面隊					第三方面隊				合 計	
			厚狭北分団	厚狭分団	出合分団	埴生分団	津布田分団	厚陽分団	高泊分団	高千帆分団	有帆分団	小野田分団	須恵分団	赤崎分団	本山分団		
定 数 表 (職 階 級 別)	団 長	1															1
	方 面 隊 長 (副 団 長)	3	1(注)				1(注)					1(注)				3	
	本 部 長 また は 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
	副 本 部 長 また は 副 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	
	部 長	5	3	4	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	36	
	班 長	9	5	7	3	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	58	
	団 員	51	30	42	19	42	19	19	19	19	19	19	19	23	19	359	
	合 計	71	40	55	26	55	26	26	26	26	26	26	26	30	26	485	
実員数	本部/分団 平成30年4月1日現在	30 (22)	40	57	30	51	24	25	24	23	22	22	21	30	21	420 (22)	

(注) 方面隊長は団本部に所属、また () 内は女性消防団員

2 消防団配置図

(1) 宇部市消防団



(2) 山陽小野田市消防団



3 消防団員階級別年齢

【宇部市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							43	43
20 歳以上 25 歳未満							41	41
25 歳以上 30 歳未満							35	35
30 歳以上 35 歳未満							53	53
35 歳以上 40 歳未満						3	71	74
40 歳以上 45 歳未満					1	13	101	115
45 歳以上 50 歳未満					2	26	69	97
50 歳以上 55 歳未満				2	18	21	47	88
55 歳以上 60 歳未満		1	3	2	11	27	27	71
60 歳以上 65 歳未満		2	6	5	12	20	13	58
65 歳以上 70 歳未満			10	6	10	5	5	36
70 歳以上	1	1						2
合 計	1	4	19	15	54	115	505	713
平 均	71	66	64	62	58	53	39	44

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							3	3
20 歳以上 25 歳未満							11	11
25 歳以上 30 歳未満							38	38
30 歳以上 35 歳未満						1	42	43
35 歳以上 40 歳未満						2	56	58
40 歳以上 45 歳未満					1	10	64	75
45 歳以上 50 歳未満					4	13	45	62
50 歳以上 55 歳未満					4	9	17	30
55 歳以上 60 歳未満				5	8	11	12	32
60 歳以上 65 歳未満			6	5	10	9	8	38
65 歳以上 70 歳未満	1	3	7	2	8		2	23
70 歳以上			1	2				3
合 計	1	3	14	14	35	55	298	420
平 均	69	69	65	62	59	51	44	44

4 消防団員階級別勤続年数

【宇部市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							209	209
5年以上10年未満						7	131	138
10年以上15年未満					2	10	58	70
15年以上20年未満				1	6	28	58	93
20年以上25年未満			1	3	8	25	28	65
25年以上30年未満			3	2	19	27	12	63
30年以上35年未満		3	5	5	13	15	6	47
35年以上40年未満		1	8	3	4	2	2	20
40年以上45年未満				1	1		1	3
45年以上	1		2		1	1		5
合計	1	4	19	15	54	115	505	713
平均	50	34	34	30	27	22	8	13

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満						1	99	100
5年以上10年未満						2	74	76
10年以上15年未満					2	8	60	70
15年以上20年未満					1	11	30	42
20年以上25年未満				3	11	10	19	43
25年以上30年未満		1	3	3	6	9	9	31
30年以上35年未満		1	2	3	5	6	7	24
35年以上40年未満	1		5	3	5	7		21
40年以上45年未満		1	3	1	5	1		11
45年以上			1	1				2
合計	1	3	14	14	35	55	298	420
平均	39	35	36	32	29	23	9	14

5 消防団員年報酬及び費用弁償

【宇部市消防団】

年 報 酬

[単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別 団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	12,000

費 用 弁 償

[単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓 練	講 習
7,000	5,000	3,000

【山陽小野田市消防団】

年 報 酬

[単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
金 額	81,000	67,500	49,000	44,000	35,500	35,000	34,500

費 用 弁 償

[単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓練その他の公務	器 具 手 入 れ
7,000	5,300	1,200

6 消防団災害出動状況

【宇部市消防団】

分 団 名	出動件数 (件)	出動人員 (人)
消 防 団 本 部	17	67
東 岐 波 分 団	1	38
西 岐 波 分 団	5	104
上 宇 部 分 団	1	7
恩 田 分 団		
東 分 団	1	4
西 分 団		
藤 山 分 団	2	17
厚 南 分 団	3	42
厚 東 分 団	1	10
二 俣 瀬 分 団	1	18
小 野 分 団	3	33
機 動 隊	3	28
船 木 分 団	2	26
万 倉 分 団	1	10
吉 部 分 団	1	13
合 計	42	417

【山陽小野田市消防団】

分 団 名	出動件数 (件)	出動人員 (人)
消 防 団 本 部	1	2
厚 狭 北 分 団		
厚 狭 分 団		
出 合 分 団	1	7
埴 生 分 団		
津 布 田 分 団		
厚 陽 分 団		
高 泊 分 団		
高 千 帆 分 団	1	15
有 帆 分 団		
小 野 田 分 団		
須 恵 分 団	1	8
赤 崎 分 団		
本 山 分 団		
合 計	4	32

7 消防団車両及び機械器具

(1) 配備管理状況

【宇部市消防団】

[単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車)	
消 防 団 本 部				1	2	
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿		1		
		丸 尾		1		
		岐 波 浦		1		
		前 田	1		1	
	西 岐 波 分 団	白 土	1		1	
		住 吉	1			
		山 村		1	1	
中 央 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	1		1	
		開		1	1	
	恩 田 分 団	1				
	東 分 団	1		1		
	西 分 団	1		1		
西 部 方 面 隊	藤 山 分 団	1		1		
	厚 南 分 団	西 宇 部	1		1	
		妻 崎		1	1	
		中 野		1	1	
		東 割		1	1	
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	1		1	
		駅 前		1	1	
		広 瀬		1	1	
	二 俣 瀬 分 団	木 田	1		1	
		車 地		1	1	
		上 山 中		1	1	
		善 和		1	1	
	小 野 分 団	下 小 野	1		1	
		上 小 野		1	1	
		市 小 野		1	1	
		楡 小 野		1	1	
		岩 川		1	1	
白 木			1	1		
大 山		1	1			

[単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車)	
楠 方 面 隊	機 動 隊	1		2	1	
	船 木 分 団	綿 屋 町		1	1	
		下 田 町		1	1	
		新 川		1	1	
	万 倉 分 団	栄 町		1	1	
		沼 田 ヶ 原		1	1	
	吉 部 分 団	中 市		1	1	
		荒 滝		1	1	
合 計		13 台	27 台	40 台	3 台	

【山陽小野田市消防団】

[単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車)
消 防 団 本 部				2	1
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	1		1	
	厚 狭 分 団	1		1	
	出 合 分 団	1		1	
	埴 生 分 団	1		1	
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	1		1	
	厚 陽 分 団	1		1	
	高 泊 分 団	1		1	
	高 千 帆 分 団	1		1	
	有 帆 分 団	1		1	
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	1		1	
	須 恵 分 団	1		1	
	赤 崎 分 団	1		1	
	本 山 分 団	1		1	
合 計		13 台		14 台	1 台

(2) 消防ポンプ自動車

【宇部市消防団】

所属 / 機庫		車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別/製作所	購 年	入 月
東部方面隊	東岐波分団	前田	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H27年2月
	西岐波分団	白土	日野 CD-1	4,000	5	A-2 モリタ	H22年2月
		住吉	日産 BD-1	3,950	7	A-2 モリタ	S60年12月
中央方面隊	上宇部分団	沼	いすゞ CD-1	4,777	6	A-2 吉谷	H14年11月
	恩田分団		日産 CD-1	4,210	8	A-2 モリタ	H4年12月
	東分団		日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H26年2月
	西分団		日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年12月
西部方面隊	藤山分団		いすゞ CD-1	4,330	8	A-2 吉谷	H7年3月
	厚南分団	西宇部	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年1月
北部方面隊	厚東分団	棚井	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H8年3月
	二俣瀬分団	木田	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H8年12月
	小野分団	下小野	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H28年1月
楠方面隊	機動隊		日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H28年1月

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫		車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別/製作所	購 年	入 月
第1方面隊	厚狭北分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H20年12月	
	厚狭分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月	
	出合分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年2月	
	埴生分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月	
第2方面隊	津布田分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月	
	厚陽分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年2月	
	高泊分団	いすゞ CD-1	4,570	7	A-2 吉谷	H13年3月	
	高千帆分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 日本機械工業	H28年2月	
	有帆分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月	
第3方面隊	小野田分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H27年3月	
	須恵分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H22年3月	
	赤崎分団	日産 CD-1	4,770	7	A-2 モリタ	H15年3月	
	本山分団	日野 CD-1	4,000	6	A-2 吉谷	H20年12月	

(3) 小型動力ポンプ積載車

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫		車 名 / 型 式			排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	購 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	日 産	L - BF22 改	1,590	6	S63年10月
		丸 尾	ダイハツ	EBD - S331W	650	4	H20年12月
		岐波浦	ダイハツ	V - S110W	650	4	H10年11月
	西岐波分団	山 村	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8年3月
		片 倉	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H12年3月
中央方面隊	上宇部分団	開	日 産	KG - SR8F23	3,150	6	H10年3月
西部方面隊	厚南分団	妻 崎	いすゞ	TPG-NJR85AN	2,990	6	H30年3月
		中 野	日 産	T-SJ2F23改	1,621	6	H 5年12月
		東 割	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H 8年3月
北部方面隊	厚東分団	駅 前	日 産	GB-SK2F23	1,990	8	H 9年9月
		広 瀬	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11年12月
	二俣瀬分団	車 地	いすゞ	BKG-NHS85A	2,990	6	H22年3月
		上山中	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年2月
		善 和	ダイハツ	V-S110P	650	4	H 9年10月
	小野分団	上小野	ダイハツ	V-S110P改	650	4	H 8年2月
		市小野	日 産	L-BF22改	1,590	6	H 1年12月
		楡小野	日 産	ZD30	2,950	6	H20年2月
		岩 川	ダイハツ	GD-S210W	650	4	H14年2月
		白 木	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11年12月
大 山	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年2月		
楠方面隊	船木分団	綿屋町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年2月
		下田町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年2月
		新 川	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月
	万倉分団	栄 町	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年12月
		沼田ヶ原	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月
	吉部分団	中 市	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年12月
		荒 滝	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月

(4) 小型動力ポンプ

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	購 入 年 月	
消 防 団 本 部		トーハツ	一段タービン	D-1	H28年3月	
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿	ラビット	一段タービン	H8年2月	
		丸 尾	トーハツ	一段タービン	H20年12月	
		岐 波 浦	ラビット	一段タービン	H10年11月	
		前 田	トーハツ	一段タービン	H27年2月	
	西 岐 波 分 団	白 土	ラビット	一段タービン	B-2	H22年2月
		山 村	トーハツ	一段タービン	B-3	H8年2月
		片 倉	ラビット	一段タービン	B-3	H14年2月
中 央 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	トーハツ	一段タービン	B-3	H14年11月
		開	シバウラ	一段タービン	B-2	H20年1月
	東 分 団	トーハツ	一段タービン	B-2	H26年2月	
	西 分 団	ラビット	一段タービン	B-2	H23年12月	
西 部 方 面 隊	藤 山 分 団	トーハツ	一段タービン	B-3	H7年3月	
	厚 南 分 団	西 宇 部	ラビット	一段タービン	B-2	H23年1月
		妻 崎	シバウラ	一段タービン	B-2	H30年3月
		中 野	ラビット	一段タービン	B-3	H8年2月
		東 割	トーハツ	一段タービン	B-3	H8年2月
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	ラビット	一段タービン	B-3	H8年3月
		駅 前	トーハツ	一段タービン	B-2	H9年9月
		広 瀬	トーハツ	一段タービン	B-3	H3年11月
	二 俣 瀬 分 団	木 田	ラビット	一段タービン	B-3	H8年12月
		車 地	シバウラ	一段タービン	B-2	H22年3月
		上 山 中	トーハツ	一段タービン	B-2	H25年2月
		善 和	シバウラ	一段タービン	B-3	H10年10月
	小 野 分 団	下 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
		上 小 野	ラビット	一段タービン	B-3	H7年2月
		市 小 野	トーハツ	一段タービン	B-3	H3年11月
		楢 小 野	ラビット	一段タービン	B-2	H20年2月
		岩 川	ラビット	一段タービン	B-3	H4年12月
		白 木	ラビット	一段タービン	B-3	H8年2月
大 山		トーハツ	一段タービン	B-2	H25年2月	
楠 方 面 隊	機 動 隊		トーハツ	一段タービン	B-2	H18年7月
			トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
	船 木 分 団	綿 屋 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		下 田 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		新 川	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
	万 倉 分 団	栄 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		沼 田 ヶ 原	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月
	吉 部 分 団	中 市	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		荒 滝	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫		ポンプ 製作所	型式	級別	購入 年月
消防団本部		トーハツ	一段タービン	B-2	H10年1月
		シバウラ	一段タービン	D-1	H27年10月
第1方面隊	厚狭北分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H11年2月
	厚狭分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	出合分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10年2月
	埴生分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10年2月
第2方面隊	津布田分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H10年2月
	厚陽分団	トーハツ	一段タービン	B-3	H11年3月
	高泊分団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28年2月
	高千帆分団	シバウラ	一段タービン	B-2	H28年2月
	有帆分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H27年3月
第3方面隊	小野田分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	須恵分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	赤崎分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月
	本山分団	トーハツ	一段タービン	B-2	H30年2月

(5) その他の車両

【宇部市消防団】

(指令車)

所属 / 機庫	車名 / 型式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	購入 年月
消防団本部	日産	CBA-NC25	1,990	8	H18年2月
	三菱	DBA-CV5W	2,350	8	H29年12月
機動隊	スバル	TA-SG5	1,990	5	H14年12月

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫	車名 / 型式		排気量 (cc)	乗車定員 (人)	購入 年月
消防団本部	トヨタ	CBA-ANM10G	2,000	7	H17年2月

8 消防団機庫

【宇部市消防団】

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年 月	
東 部 方面隊	東岐波分団	古 殿	大字東岐波 494-4	96.64	25.63	S55 年 3 月
		丸 尾	大字東岐波 4138-13 の一部	32.96	11.93	S54 年 3 月
		岐波浦	大字東岐波 1450-2	63.94	15.44	H 4 年 12 月
		前 田	大字東岐波 1777	38.71	38.71	H27 年 2 月
	西岐波分団	白 土	床波四丁目 2076 他	327.69	83.22	H22 年 3 月
		住 吉	床波六丁目 3041-18・19	90.18	32.66	H 9 年 3 月
		山 村	大字西岐波 2478	300.00	30.48	H 6 年 3 月
		片 倉	大字西岐波 5172-1	143.35	15.44	H10 年 1 月
中 央 方面隊	上字部分団	沼	沼二丁目 1669-3 の内	43.12	30.00	S48 年 12 月
		開	常盤台二丁目 834-1	194.00	30.18	H10 年 3 月
	恩 田 分 団	八王子町 636-9	126.24	30.00	S48 年 12 月	
	東 分 団	松山町二丁目 5-16	74.77	28.79	S32 年 11 月	
	西 分 団	島三丁目 1-9	383.47	83.22	H24 年 3 月	
西 部 方面隊	藤 山 分 団	文京町 2244-1	30.48	30.48	H 8 年 3 月	
	厚 南 分 団	西宇部	西宇部南二丁目 1350-1	175.46	38.71	H23 年 3 月
		妻 崎	大字東須恵 2954-1	146.00	28.50	S47 年 2 月
		中 野	大字東須恵 276-4 の一部	218.60	33.84	H13 年 3 月
		東 割	大字妻崎開作 1	111.09	22.21	S52 年 10 月
北 部 方面隊	厚 東 分 団	棚 井	大字棚井 43-3 の一部	56.61	26.14	H 8 年 3 月
		駅 前	大字吉見 966-12	79.25	30.48	H 7 年 4 月
		広 瀬	大字広瀬 560-1	11.46	11.46	S62 年 12 月
	二俣瀬分団	木 田	大字木田 560-3 の一部	22.21	22.21	S53 年 2 月
		車 地	大字木田 173	30.48	30.48	H 2 年 2 月
		上山中	大字山中 411-9	119.00	28.97	H15 年 12 月
		善 和	大字善和 108-2・5	135.80	15.44	H 9 年 3 月
	小 野 分 団	下小野	大字小野 8265-22 の一部	71.70	30.48	S61 年 6 月
		上小野	大字小野 3677	13.20	12.67	S54 年 3 月
		市小野	大字小野 1305 第 1	30.00	22.90	S50 年 12 月
		楡小野	大字楡小野 534-2	38.50	21.00	S48 年 10 月
		岩 川	大字小野 6731 第 3	53.03	17.80	H14 年 11 月
		白 木	大字小野 10139-2 の一部	11.46	11.46	S60 年 3 月
大 山	大字小野 9129-2 の一部	15.44	15.44	H 4 年 12 月		

所属 / 機庫		場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月	
楠 方 面 隊	機 動 隊	大字船木 442-10	99.10	41.83	S58 年 3 月	
	船 木 分 団	綿 屋 町	大字船木 184	161.98	16.20	H12 年 3 月
		下 田 町	大字船木 690-5	147.16	18.25	H18 年 2 月
		新 川	大字船木 3648-1	801.90	20.22	H26 年 2 月
	万 倉 分 団	栄 町	大字西万倉 1698-1	413.96	52.54	S60 年 1 月
		沼 田ヶ 原	大字芦河内 11-6	213.00	25.20	H16 年 12 月
	吉 部 分 団	中 市	大字東吉部 3329-4	196.17	34.35	H13 年 11 月
		荒 滝	大字東吉部 1086	542.14	18.25	H14 年 3 月

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫		場 所	土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	建 築 年 月	
第1方面隊	厚 狭 北 分 団	厚 狭 北 分 団 庫	大字厚狭 5112 番地 5(赤川)	287.18	67.50	H20年 3月
		赤川防災倉庫	大字厚狭 5723 番地 1(沓山田)	188.70	12.20	H元年 1月
		森広防災倉庫	大字厚狭 2708 番地 3(森広)	—	12.60	—
	厚狭分団	厚 狭 分 団 庫	大字鴨庄 99 番地 1、99 番地 2 の一部(千町 5)	283.13	66.75	H28年 3月
		厚狭防災倉庫	大字鴨庄 98 番地 1(千町 5)	—	78.00	S59年 12月
		鴨庄防災倉庫	大字鴨庄 590 番地 5(鴨庄西)	—	12.40	—
		下津防災倉庫	大字郡 2013 番地 5(西下津)	324.45	22.30	H3年 1月
	出合分団	出 合 分 団 庫	大字山野井 2743 番地(栗田)	167.71	49.95	H19年 3月
	埴生分団	埴 生 分 団 庫	大字埴生 525 番地 1(東側) 埴生支所併設	—	34.10	—
		福田防災倉庫	大字福田 777 番地 9(下福田)	55.10	24.00	S61年 3月
大持防災倉庫		大字埴生 3133 番地 5(大持)	94.53	17.50	H3年 12月	
第2方面隊	津 布 田 分 団	津 布 田 分 団 庫	大字津布田 1061 番地(東郷)	436.75	31.05	H16年 11月
	厚陽分団	厚 陽 分 団 庫	大字郡 3976 番地 17(渡場)	282.00	49.95	H19年 3月
	高泊分団	高 泊 分 団 庫	大字西高泊 1768 番地 1(郷)	164.82	49.95	S61年 3月
	高千帆 分 団	高 千 帆 分 団 庫	日の出一丁目 1 番 1 号(新生町 第一)山陽小野田市役所併設	—	58.48	H7年 3月
	有帆分団	有 帆 分 団 庫	大字有帆 742 番地 1(杵築)	174.25	52.65	S60年 3月
第3方面隊	小 野 田 分 団	小 野 田 分 団 庫	栄町 7 番 3 号(栄町)	95.52	48.19	H2年 3月
		小野田防災倉庫	大字小野田 6114 番地 3(南中 川)	170.56	52.00	S55年 11月
	須恵分団	須 恵 分 団 庫	港町 7 番(港町)	267.40	61.84	H12年 2月
	赤崎分団	赤 崎 分 団 庫	赤崎一丁目 1 番 5 号(西の浜)	174.25	52.65	S60年 3月
	本山分団	本 山 分 団 庫	大字小野田 1967 番地(浜河内)	498.31	52.00	S57年 12月

9 消防団協力事業所

【宇部市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	山口宇部農業協同組合	平成 22 年 3 月 1 日
2	ルネサスセミコンダクタ マニファクチュアリング株式会社山口工場	平成 22 年 3 月 1 日
3	宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場	平成 22 年 3 月 1 日
4	宇部マテリアルズ株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
5	チタン工業株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
6	宇部物流サービス株式会社 宇部営業所	平成 22 年 3 月 1 日
7	船木鉄道株式会社	平成 22 年 3 月 1 日
8	新川物流株式会社 西宇部営業所	平成 22 年 3 月 1 日
9	山口県漁業協同組合 宇部統括支店	平成 23 年 3 月 1 日
10	宇部フロンティア大学	平成 30 年 3 月 1 日
11	山口大学 工学部	平成 30 年 3 月 1 日



【山陽小野田市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	THK株式会社 山口工場	平成 23 年 3 月 18 日
2	厚和産業株式会社	平成 23 年 3 月 18 日
3	日鍛バルブ株式会社 山陽工場	平成 23 年 3 月 18 日
4	化薬アクゾ株式会社 厚狭工場	平成 23 年 3 月 18 日
5	日本化薬株式会社 厚狭工場	平成 23 年 3 月 18 日
6	日産化学工業株式会社 小野田工場	平成 23 年 3 月 18 日
7	共英製鋼株式会社 山口事業所	平成 23 年 3 月 18 日
8	戸田工業株式会社 小野田事業所	平成 23 年 3 月 18 日
9	西部石油株式会社 山口製油所	平成 23 年 3 月 18 日
10	光洋技研株式会社 山口工場	平成 29 年 3 月 13 日
11	田辺三菱製薬工場株式会社	平成 29 年 3 月 13 日
12	長州産業株式会社	平成 29 年 3 月 13 日



【総務省消防庁消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月
1	山口宇部農業協同組合	平成 23 年 2 月
2	厚和産業株式会社	平成 24 年 2 月

消 防 年 報

(平成29年版)

発行日 平成 3 0 年 (2 0 1 8 年) 8 月

発行者 宇部・山陽小野田消防局
山口県宇部市港町二丁目3番30号

U R L <http://www.ube-sansho119.jp/>

E-M a i l soumu@ube-sansho119.jp

編 集 宇部・山陽小野田消防局 総務課
TEL(0836)21-6112 FAX(0836)31-0119

印 刷 宇部・山陽小野田消防局 総務課